

富士川町都市計画マスタープラン

住民アンケート調査結果



平成24年6月

富士川町

目 次

1. 調査の概要	2
(1) 調査の目的	2
(2) 調査方法	2
(3) 調査項目	2
(4) 集計・分析方法	2
2. 回収結果と属性	3
(1) 配布・回収結果	3
(2) 回答者の属性	3
3. 全体調査結果	5
(1) 全体調査結果の分析とまとめ	5
(2) 全体集計結果	6
1) 富士川町らしさ・まちのイメージについて	6
2) 富士川町の今後のまちづくりについて	7
3) 参加のまちづくりについて	18
3. 自由記入のまとめ	21
4. 地域別調査結果	26
(1) 地域別集計結果の分析とまとめ	26
(2) 地域別集計結果	28
1) 都市・田園地域	28
2) 平林・穂積地域	36
3) 五開・中部地域	44
■ 参考資料	52
○アンケート調査票	52

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

都市計画マスタープランの策定にあたっては、地域の特性を活かし、地域住民の意見を反映させた「住民の理解と合意によるまちづくりの指針となる」ことが重視されています。

富士川町では、まちの将来像やまちづくりの方向性について、広く住民の皆さんの意見や考えを把握し、これらを計画に充分に反映させることで、より良い計画づくりに資することを目的として、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査方法

① 調査対象地区

○富士川町全域

② 調査対象

○町内住民満 20 歳以上無作為抽出 1,500 人（票）

※地域別構想への反映を考慮し、町を3地域に区分し、人口・年齢構成等を勘案の上抽出

③ 調査期間

○平成 24 年 3 月 14 日～3 月 28 日×切（投函期限）

④ 配布・回収方法

○配布：郵送

○回収：郵送（返信用封筒同封による料金後納・受取人払い）

(3) 調査項目

●記入者の属性（性別・年齢・お住まいの地区・居住年数）

●まちの将来像について（町のイメージ／将来像）

●今後のまちづくりについて

・まちづくりで重視する視点（施策全般）

・優先すべき個々の施策（発展・活性化／土地利用／道路・交通対策／観光振興／自然・水と緑／景観／生活基盤／防災・防犯／福祉／環境）

●参加のまちづくりについて（まちづくりへの参加意向／行政に望む取り組み体制／協働のまちづくり）

●自由記入

(4) 集計・分析方法

○全体集計については、有効回収数（回答不明を含む）を 100%とみなし、設問毎にグラフ化し、選択肢のパーセンテージ、回答数などにより分析します。

○地域別集計については、地区不明を除いた各地域の有効回収数を 100%とみなし、各々の集計結果を、地域毎に結果をグラフ化し整理します。

○各設問については、回答無しや複数回答数での回答数未満もあり、必ずしも総数と合致しないものもあります。

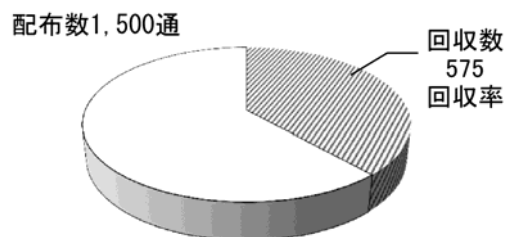
○その他の意見や自由記入については、記述意向をなるべく損ねないよう、全ての意見を簡略化した記述にとどめ、記述の傾向からまちづくりに関連する項目で分類、KJ法により集約化し全体集計で整理しています。また、（ ）内の数値は、類似回答数を示したものです。

2. 回収結果と属性

(1) 配布・回収結果

- 回収結果は、配布調査票 1,500 票のうち、575 票の有効回収数、回収率は **38.3%**、約4割弱の高い回収率となっています。
- 住まいの地区からみると、回収率は都市・田園地域が約 88%と高くなっていますが、配布数からみた地域別回収率では五開・中部地域が約 45%と高く、全体集計結果においては都市・田園地域の意向が高くなっているものと想定されます。
- 属性からみると、性別は若干女性が多く、年齢は 60 歳以上の高齢者が半数強を占め、また、30 年以上の居住者が7割と、長く地域に居住している高齢層の世代の傾向が高いことが伺えます。

回収率

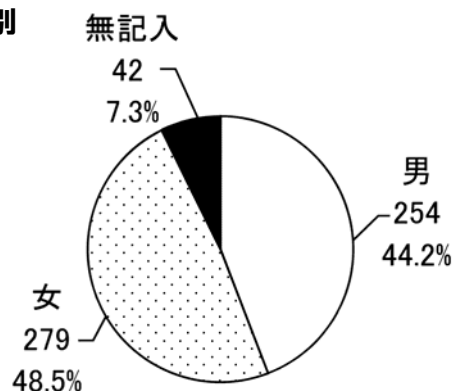


(2) 回答者の属性

① 性別

○性別は、男性 254 人 44.2%、女性 279 人 48.5%、不明 42 人 7.3%となっており、女性が男性を若干上回っています。

性別



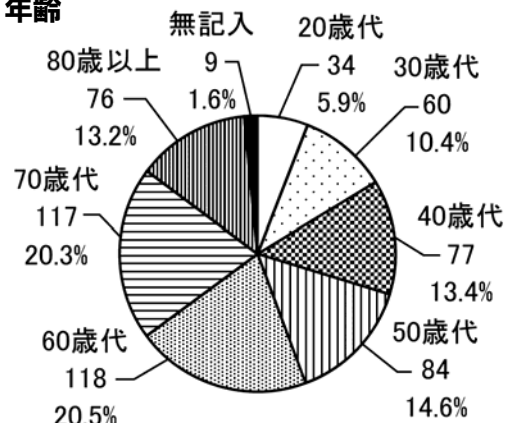
② 年齢

○年齢は、60 歳代が最も多く全体の 20.5%、次に 70 歳代の 20.3%となっています。

○60 歳代～80 歳代以上の高齢層の回答が全体の 54%、40 歳代～50 歳代は 28%、また、20 歳代～30 歳代は全体の約 16%と、若年層になるにつれ回答率は低くなっています。

○年齢層からみた回答者の特徴は、60 歳以上の高齢者が半数強を占めていますが、おおむね各年齢層からの回答が得られています。

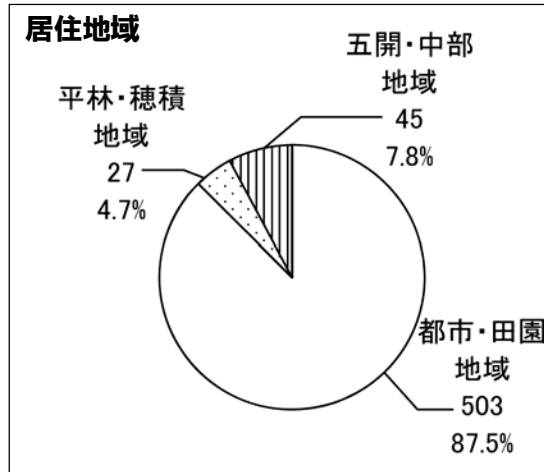
年齢



③ 住まいの地域

○住まいの地区は、都市・田園地域が 87.5%と突出して高く、次に五開・中部地域 7.8%、平林・穂積地域 4.7%となり、調査結果については、約9割近くが都市・田園地域の意向であると言えます。

○地域別の配布数に対する回収率では、五開・中部地域が 44.9%と最も高く、次に、都市・田園地域 37.3%、平林・穂積地域 36.5%となっており、大きな偏りはみられず、おおむね近似した回収率となっています。



■地域別回収率

地域区分	配布数 (票)	回収数 (票)	地域別回収率 (%)
都市・田園地域	1,348	503	37.3
平林・穂積地域	74	27	36.5
五開・中部地域	78	35	44.9
無記入	—	10	—
計	1,500	575	38.3

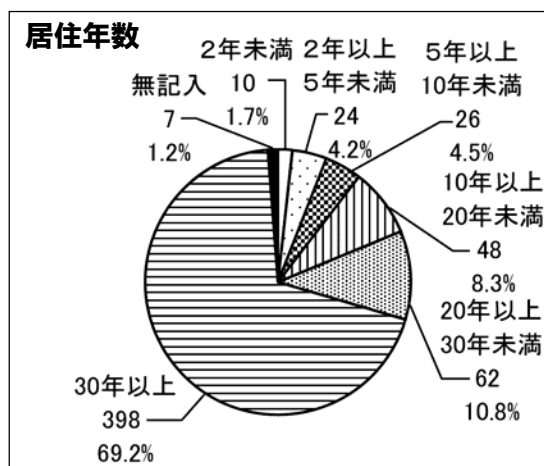
■地域別の区分



④ 居住年数

○富士川町における居住年数では、30 年以上が 69.2%と突出して高く、次に 20 年以上 30 年未満が 10.8%、10 年以上 20 年未満が 8.3%、10 年未満は全体の 10.4%となっています。

○回答者の約7割は 30 年以上の居住者であり、調査結果は、地域に長く住んでいる住民の意向が多く反映されていると考えられます。



3. 全体調査結果

(1) 全体調査結果の分析とまとめ

◆まちの将来像

○富士川町らしさ・まちのイメージについては、「大法師公園のさくら、妙法寺のあじさい、林道沿いの紅葉など、四季折々の彩りがあるまち」が約 26%と高く、四季折々の彩り、自然豊かな美しい風景や眺望、歴史文化を継承するまち、今後、交通の要衝地として発展していくまちなどのイメージが強くなっています。

◆今後のまちづくり

●まちづくりで重視する視点(施策全般)

○まちづくりで重視する視点は、「子ども達や高齢者など、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する」が約 22%と突出し、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを第一に、活力あるまち、災害に強い安全なまちづくり、産業振興による定住化の促進など、安心して暮らせる活気あるまちを重視する傾向が同えます。

●優先すべき個々のまちづくり施策 ～個々の分野で具体的には次の施策を優先すべきとしています～

- ①まちの発展・活性化は、増穂 IC 周辺や東部地域開発などの市街地整備、既存商店街への支援充実、定住促進のための新たな産業おこしや優良企業の誘致などによる発展・活性化などを優先する
- ②調和のとれた土地の使い方は、空き家・空き地対策などの住環境の改善や遊休農地・耕作放棄地の有効活用、増穂 IC 周辺整備の計画的な土地利用の推進、中心市街地の基盤整備の充実、計画的な宅地開発などを優先する
- ③道路・交通対策は、公共交通機関の充実や身近な生活道路の改善、道の駅の整備促進、交通安全対策や交通安全施設の改善、中部横断自動車道周辺アクセス道路整備などを優先する
- ④観光による振興は、祭りやイベントの充実とPRの推進、新たな観光集客施設の整備、地場産業による振興、景勝地周辺の保全と活用などを優先する
- ⑤豊かな自然や水と緑は、河川・渓谷等の水辺環境や貴重な動植物の生息環境の保全、四季折々の風景づくり、また、鳥獣害対策とともに優れた自然環境の保全などを優先する
- ⑥ふるさとの景観づくりは、眺望景観や水辺景観の保全・活用、増穂 IC や観光拠点を活用したシンボル景観づくり、景勝地選定など景観形成活動の推進とPRの充実などを優先する
- ⑦公共施設や公園などの生活基盤は、文化施設等の交流施設や多くの人々が利用する公園・緑地、身近な公園・広場の整備、老朽化した公営住宅の改善と定住促進のための計画的な公営住宅整備、また、宅地整備や住環境整備などを優先する
- ⑧防災・防犯は、自然災害対策の強化を第一として、救急医療体制の整備や災害時における避難所・備蓄倉庫の整備、正確で迅速な情報伝達システムの充実などを優先する
- ⑨福祉については、地域医療体制の充実を第1に、高齢者福祉施設や少子化対策の充実、生きがいづくりや就労の場の確保などの支援体制づくり、介護医療サービスの充実などを優先する
- ⑩環境に配慮したまちづくりは、省エネ・自然エネルギーの導入や地域環境に対する住民の意識向上、マナーやルールの遵守、効率的なごみ処理体制やごみの再資源化の推進などを優先する

◆参加のまちづくり

○まちづくりへの参加意向は、内容によっては参加するが約 37%と高く、何らかの参加意向は7割強と高い傾向にあります。この参加の環境づくりが今後の課題であり協働のまちづくりへ向けた足がかりです。

○まちづくりにあたっての行政の取り組み体制については、情報公開やPRの充実、住民意向の反映、まちづくり説明会などの機会・場の充実、住民の自主的活動に対する支援などを望んでいます。

○協働のまちづくりについては、意見交換の場づくり、自発的なまちづくり活動への支援・助成の仕組みづくり、リーダーとなる人材育成、協働による町独自のルールや制度づくりなどを望んでいます。

◆自由記入

○自由記入は23%の記入があり、観光・活性化やまちづくり全般への意見・提案が多くなっています。

(2) 全体集計結果

1) 富士川町らしさ・まちのイメージについて

設問1 ◆まちの現在のイメージについて

あなたが日頃思う富士川町らしさ、町のイメージをあらわしているものを次よりお選び下さい。

【2つ選択】

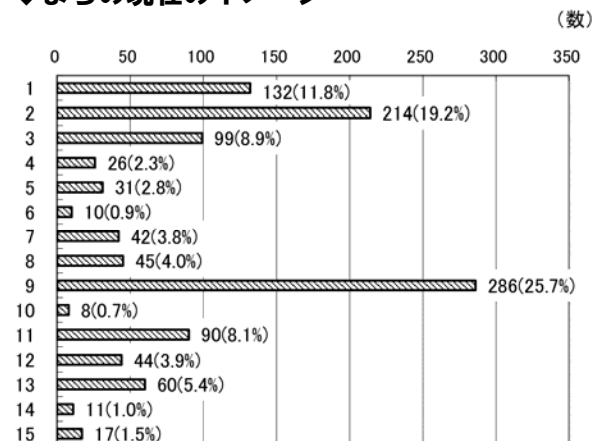
○富士川町の現在のまちのイメージについては、「9. 大法師公園のさくら、妙法寺のあじさい、林道沿いの紅葉など、四季折々の彩りがあるまち」が 25.7%と最も高く、次に、「2. ダイヤモンド富士などの眺望や市街地から望む山々の風景など、美しい風景に恵まれたまち」が 19.2%、「1. 楡形山や源氏山などの山岳や森林、美しい渓谷や滝、富士川の清流など、豊かな自然環境があるまち」が 11.8%と続き、その他は全体的にバラツキのある傾向となっています。反対に、レクリエーションや自然体験の盛んなまち、観光や交流が盛んなまちなどを挙げる人は少なくなっています。

○全体的にみると、四季折々の彩り、自然豊かな美しい風景や眺望、歴史文化を継承するまち、今後、交通の要衝地として発展していくまちなどが、現在のまちのイメージをあらわしているとする意見が多くなっています。

○その他では、特産品や災害の少ないまち、スポーツの盛んなまち、また、マイナス傾向にあるまちのイメージなどへの意見がみられます。

1. 楡形山や源氏山などの山岳や森林、美しい渓谷や滝、富士川の清流など、豊かな自然環境があるまち
2. ダイヤモンド富士などの眺望や市街地から望む山々の風景など、美しい風景に恵まれたまち
3. 富士川舟運の拠点として繁栄した歴史文化を継承するまち
4. 太鼓堂、蓮華寺、明王寺等の史跡・文化財など、由緒ある歴史資源を守るまち
5. 平林の棚田、落ち着いた趣のある集落や里山など、故郷のなつかしい風景
6. 交流センター塩の華、あおやぎ宿活性館・追分館など、観光や交流が盛んなまち
7. 天神社祭典やふじかわ夏まつりなど、祭事・行事・イベントが盛んなまち
8. まぼらの湯やかじかの湯などの名湯の憩いと安らぎがあるまち
9. 大法師公園のさくら、妙法寺のあじさい、林道沿いの紅葉など、四季折々の彩りがあるまち
10. 登山やハイキング、キャンプ場など身近なレクリエーションや自然体験の盛んなまち
11. 中部横断自動車道の整備など甲府盆地南西部の交通の要衝地として発展していくまち
12. 交通や日常の買い物などの利便性が整った暮らしやすいまち
13. 昔ながらの風習や地域の人々のふれあいが深いまち
14. その他
15. 不明

◆まちの現在のイメージ



【その他】

- ・ゆずの里
- ・災害もなく良い所
- ・スポーツの盛んなまち
- ・住民が高齢化していくまち
- ・まとまりのないイメージのまち
- ・役場の対応が悪い
- ・何も感じない

2) 富士川町の今後のまちづくりについて

設問2 ◆まちづくりで重視する視点（施策）

今後、富士川町のまちづくりを進めて行くにあたって、あなたはどのような視点（施策）を重視していくべきとお考えになりますか。

【2つ選

○まちづくりで重視する視点については、「9. 子ども達や高齢者など、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する」が 22.4%と突出して高く、次に、「1. 高速交通網整備やインターチェンジ周辺開発など、まちの発展に力を注ぎ活力を高める」が 13.8%、「8. 水害や地滑りなど、災害に強い安全なまちづくりを推進する」が 10.5%、「2. 農林業、商工業、観光振興など産業振興により定住化を促進し、まちの活力を高める」が 10.2%と続き、その他は比較的バラツキのある傾向となっています。反対に、環境に配慮したまちや地域格差のないまちづくりの推進などは低くなっています。

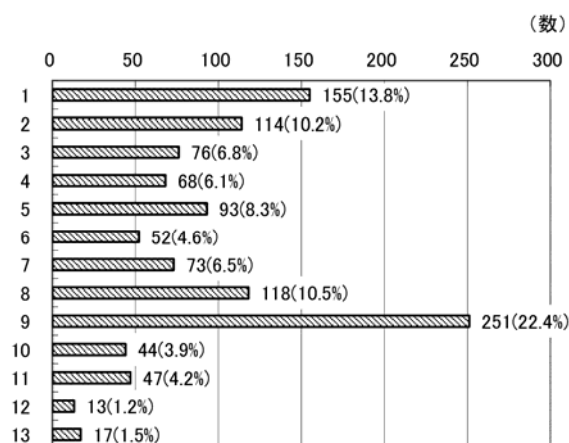
○全体的にみると、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを第一に、活力あるまち、災害に強い安全なまちづくり、産業振興による定住化の促進など、安心して暮らせる活気あるまちを重視する傾向が伺えます。

○その他では、利便性の向上や活性化、産業振興、生活環境の充実などに関連した意見がみられます。

1. 高速交通網整備やインターチェンジ周辺開発など、まちの発展に力を注ぎ活力を高める
2. 農林業、商工業、観光振興など産業振興により定住化を促進し、まちの活力を高める
3. 森林や農地などの無秩序な開発を抑制し、計画的な調和のとれた土地の使い方を進めていく
4. 幹線道路の整備や身近な生活道路の改善・整備、公共交通の充実など、交通環境の利便性を高める
5. 豊かな森林や河川・渓谷などの水辺、恵まれた自然環境を守り、活用する
6. 舟運などの歴史文化的景観、自然・里山景観、雄大な眺望など、ふるさとの美しい風景を守り、育てる
7. 公園や上・下水道、公共施設整備など、身近な生活基盤を充実する
8. 水害や地滑りなど、災害に強い安全なまちづくりを推進する
9. 子ども達や高齢者など、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する
10. 循環型社会^{*1}の形成に向けた取り組みなど、環境に配慮したまちづくりを推進する
11. 中山間地域など各地域の特性を踏まえ、バランスのとれた地域格差のないまちづくりを推進する
12. その他
13. 不明

*1 循環型社会：大量生産・消費・廃棄の社会に代わり、製品の再生利用や再資源化を進めて資源の消費を抑え、環境への負荷ができるかぎり低減される社会

◆まちづくりで重視する視点（施策）



【その他】

- ・日常生活、買い物等の利便性（3）
- ・既存市街地を活かしたコンパクトなまちづくり
- ・教育、医療、雇用、防災を充実させたまちづくり
- ・休耕地対策
- ・企業の誘致
- ・アウトレットモールの整備
- ・商店街の活性化

- ・ゆずの全量加工
- ・図書館の充実
- ・少子化対策の強化
- ・高齢者が自然素材の手作り品を展示販売できるような仕組みづくり
- ・まちづくりに対する住民の意識向上を図る
- ・排他的な体質を改め、人口増加を図る

設問3 ◆具体的な施策の方向性

では、具体的にはどのような点を優先してまちづくりを進めるべきとお考えになりますか。

【各質問2つ選択】

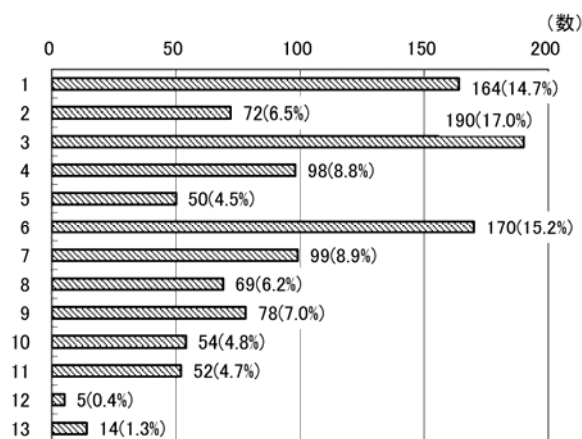
① まちの発展・活性化について

- まちの発展・活性化については、「3. 増穂 IC 周辺整備や東部地域開発など、まちの中心となる市街地の活性化」が 17.0%と最も高く、次に、「6. 空き店舗の活用、買い物弱者への対応など、既存商店街への支援充実による活性化」が 15.2%、「1. 定住促進や雇用機会確保のための工業用地整備、優良企業の誘致促進」が 14.7%と続き、上位の3つが突出しています。上位3つ以外は比較的近似した傾向を示しています。また、交通基盤の整備や情報通信環境の整備などは低くなっています。
- まちの発展・活性化については、増穂 IC 周辺や東部地域開発などの市街地整備、既存商店街への支援充実、定住促進のための新たな産業おこしや優良企業の誘致などによる発展・活性化を望む傾向が強くなっています。
- その他では、定住促進や医療機関の充実、積極的なまちのPRなどの意見がみられます。

1. 定住促進や雇用機会確保のための工業用地整備、優良企業の誘致促進
2. 中部横断自動車道やリニア中央新幹線中間駅への広域アクセス道路の強化
3. 増穂 IC 周辺整備や東部地域開発など、まちの中心となる市街地の活性化
4. 自然環境や歴史文化など、特色ある地域資源を活用した観光振興
5. 周辺市町村や地域間を結ぶ幹線道路網整備など、交通基盤の整備充実
6. 空き店舗の活用、買い物弱者への対応など、既存商店街への支援充実による活性化
7. スーパーや複合商業施設など、大規模店舗の誘致促進
8. 観光農業の充実や生産基盤の充実、後継者・担い手育成などによる農林業の活性化
9. 朝市などの地産地消の促進と、ゆず、ラ・フランスなど特産品による地域ブランドづくり
10. 既存の伝統産業や中小企業への支援充実による地域活性化の推進
11. 地域情報を内外へ発信する情報通信（光ケーブルなど）環境の整備
12. その他
13. 不明

◆具体的な施策の方向性

（①まちの発展・活性化）



【その他】

- ・企業誘致や公営住宅整備など定住化の工夫
- ・医療機関の充実、公立病院の整備
- ・地域力を高めるまちづくり
- ・桜や紅葉の見ごろ情報などのPRを積極的に行う

② 調和のとれた土地の使い方について

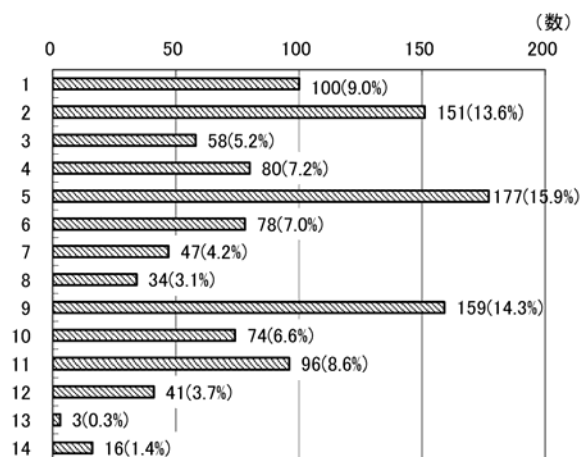
○調和のとれた土地の使い方については、「5. 住宅地や集落地の住環境の向上、空き家・空き地対策などの住環境の改善」が 15.9%と最も高く、次に、「9. 遊休農地、耕作放棄地などの有効活用」が 14.3%、「2. 中部横断自動車道増穂 IC 周辺の計画的な土地利用の推進」が 13.6%と続き、上位3つが突出しています。上位3つ以外はバラツキのある傾向となっています。反対に、優良農地の保全と農業生産基盤の整備や土地の使い方のルールづくりなどは低くなっています。

○土地利用については、空き家・空き地対策などの住環境の改善や遊休農地・耕作放棄地の有効活用、増穂 IC 周辺整備の計画的な土地利用の推進、中心市街地の基盤整備の充実、計画的な宅地開発などを望む傾向が強くなっています。

○その他では、商店街の活性化、有効的な土地活用、維持管理などの意見がみられます。

1. 東部地域開発の推進など、町の顔となる中心市街地の都市基盤整備の充実
2. 中部横断自動車道増穂 IC 周辺の計画的な土地利用の推進
3. 水辺プラザ、スポーツ施設整備など、水辺空間の有効活用
4. 工業地や商業地など、地域の実情に即した土地の有効利用の促進
5. 住宅地や集落地の住環境の向上、空き家・空き地対策などの住環境の改善
6. 水辺環境や森林などの豊かな自然環境の保全
7. 森林・農地などの無秩序な開発・宅地化の抑制
8. 優良農地の計画的な保全と農業生産基盤の整備促進
9. 遊休農地、耕作放棄地などの有効活用
10. 甲西道路や国道 52 号などの幹線道路沿道の良好なまちなみ誘導
11. 定住促進のための計画的な宅地開発の整備・誘導
12. 土地利用計画の策定、良好な土地の使い方のためのルールづくり（土地利用ガイドラインなど）
13. その他
14. 不明

◆具体的な施策の方向性（②土地の使い方）



【その他】

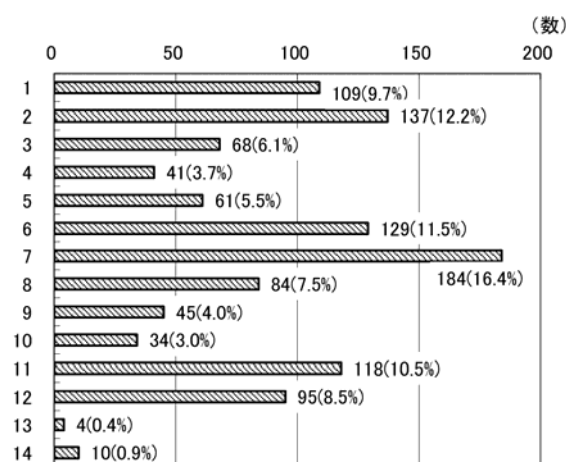
- ・商店街の活性化
- ・河川敷の土地の活用
- ・工業地の草刈り等維持管理の徹底
- ・高等学校の充実

③ 道路・交通対策について

- 道路・交通対策については、「7. コミュニティバスやデマンド交通などの公共交通機関の充実とJR 身延線へのアクセス強化」が16.4%と最も高く、他に比べて若干突出しています。次に、「2. 町の玄関口、窓口となる「道の駅」の整備促進」が12.2%、「6. 身近な生活道路の改善整備や狭い道路の拡幅整備」が11.5%と続いています。全体的にバラツキのある傾向となっています。反対に、登山道・ハイキングルートや散歩道づくり、都市計画道路の整備推進などは低くなっています。
- 道路・交通については、公共交通機関の充実や身近な生活道路の改善、道の駅の整備促進、交通安全対策や交通安全施設の改善、中部横断自動車道周辺アクセス道路整備などを望む傾向が強くなっています。
- その他では、県道の早期整備、交通安全施設の改善、自転車専用道路整備などの意見がみられます。

1. 中部横断自動車道の整備促進と周辺アクセス道路整備の推進
2. 町の玄関口、窓口となる「道の駅」の整備促進
3. 甲西道路など甲府圏域や周辺都市を結ぶ広域幹線道路網の機能強化
4. 市街地の骨格となる都市計画道路の整備推進
5. 各集落や山間地域の生活道路の確保と地域間交通ネットワークの確立
6. 身近な生活道路の改善整備や狭い道路の拡幅整備
7. コミュニティバスやデマンド交通などの公共交通機関の充実とJR 身延線へのアクセス強化
8. 誰もが安心・快適に歩ける歩道の整備や歩行者優先道路の整備
9. 道路のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化など、人にやさしい道づくりの推進
10. 登山道・ハイキングルートの充実やふるさとの散歩道づくりの推進
11. 通学路の交通安全対策の充実、信号機や横断歩道など交通安全施設の改善・整備
12. 街路灯・防犯灯の充実
13. その他
14. 不明

◆具体的な施策の方向性 (③道路・交通対策)



【その他】

- ・県道鰍沢高下線の早期整備
- ・信号を減らす（夜中・早朝の信号無視がひどいため）
- ・自転車専用道路の整備

④ 観光による振興について

○観光による振興については、「10. 大法師さくら祭りやふじかわ夏まつりなど、郷土の祭り・イベントの充実とPRの推進」が 17.2%と最も高く、次に、「3. 道の駅・農産物直売所など、新たな観光集客施設の整備促進」が 15.5%で、この2つが突出しています。さらに、「5. 朝市の促進、郷土料理や特産品開発、硯製造などの伝統的地場産業やゆずなどの特色ある農産物を活用した産業観光の振興」が 10.4%、「1. 山岳、渓谷などの自然環境や富士山の眺望など、景勝地周辺の保全と活用」が 10.2%と近似して続き、その他は比較的近似した傾向を示しています。反対に、フットパスやハイキングコースの整備などは低くなっています。

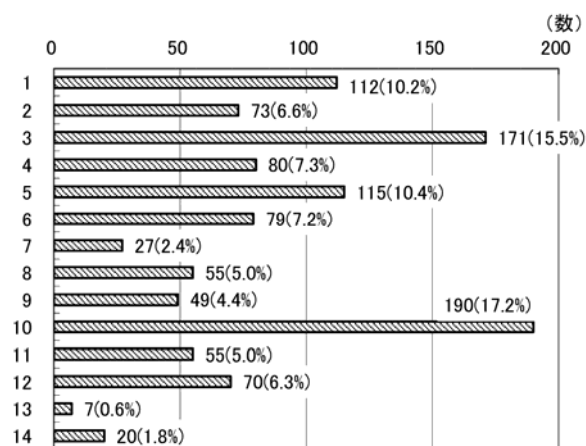
○観光による振興については、祭りやイベントの充実とPRの推進、新たな観光集客施設の整備、地場産業による振興、景勝地周辺の保全と活用などによる観光振興を望む傾向が強くなっています。

○その他では、観光資源の充実や観光施策に関連する意見などがみられます。

1. 山岳、渓谷などの自然環境や富士山の眺望など、景勝地周辺の保全と活用
2. あおやぎ宿活性館、観光遊船などの富士川舟運や旧街道の歴史文化を活用した町独自の観光振興
3. 道の駅・農産物直売所など、新たな観光集客施設の整備促進
4. 交流施設や体験施設、温泉などの既存の観光スポットの魅力の向上
5. 朝市の促進、郷土料理や特産品開発、硯製造などの伝統的地場産業やゆずなどの特色ある農産物を活用した産業観光の振興
6. 町内三筋（平林・穂積・五開）と観光拠点を結ぶ観光周遊ルートの整備充実
7. 資源を巡る散策路やフットパス、ハイキングコースなどの整備充実
8. 登山、釣り、キャンプなどスポーツ・レクリエーション施設の整備充実
9. グリーンツーリズム、自然・田舎体験など都市との交流機会の充実
10. 大法師さくら祭りやふじかわ夏まつりなど、郷土の祭り・イベントの充実とPRの推進
11. 案内標示の充実、来訪者を迎える体制づくり（観光マップ、ボランティアガイドの育成など）
12. インターネットやテレビ、雑誌、フィルムコミッション*2などを活用した新たな宣伝活動の充実
13. その他
14. 不明

*2 フィルムコミッション：映画、テレビドラマ、CM などのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための支援をする活動

◆具体的な施策の方向性 （④観光による振興）



【その他】

- ・魅力ある観光資源を充実させる
- ・テーマを決めそれに沿った振興策を進める
- ・無駄な箱モノは造らない
- ・近隣町村と比べ劣っているので振興策は今更必要ない

⑤ 豊かな自然や水と緑について

○豊かな自然や水と緑については、「3. 富士川や戸川、大柳川溪谷、妙連滝や不動滝などの美しい水辺環境の保全」が 23.1%と突出して高く、次に、「5. ホタルや水辺の生態系など、貴重な動植物の生息環境の保全」が 15.0%、「8. 桜やあじさい、菜の花など、地域にふさわしい四季折々の花や樹林を増やす」が 14.0%と続き、比較的バラツキのある傾向となっています。反対に、緑化の推進などは低くなっています。

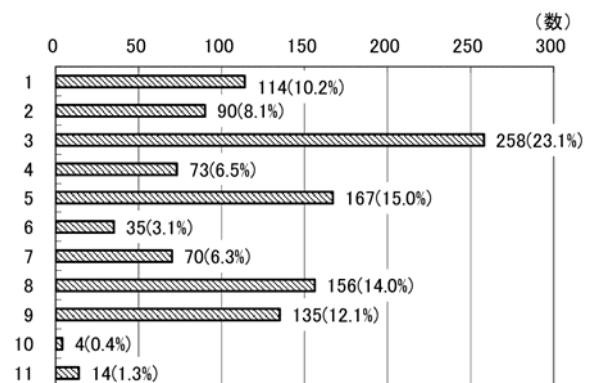
○水や緑などの自然については、河川・溪谷等の水辺環境や貴重な動植物の生息環境の保全、四季折々の風景づくり、また、鳥獣害対策とともに優れた自然環境の保全などを望む傾向が強くなっています。

○その他では、緑化や散策路づくり、鳥獣害対策などの意見がみられます。

1. 県立南アルプス巨摩自然公園などの広大な森林や溪谷など、優れた自然環境の保全
2. 水源涵養にも寄与する森林資源の保全と住民参加による森づくり活動の促進
3. 富士川や戸川、大柳川溪谷、妙連滝や不動滝などの美しい水辺環境の保全
4. 里山や雑木林、屋敷林、古木・大木など、身近なみどりの保全
5. ホタルや水辺の生態系など、貴重な動植物の生息環境の保全
6. 公共施設や民有地などの緑化の推進
7. 街路樹や植樹などによる道路や河川空間などの緑化の推進
8. 桜やあじさい、菜の花など、地域にふさわしい四季折々の花や樹林を増やす
9. サル、イノシシ、シカなどの鳥獣害対策の推進
10. その他
11. 不明

◆具体的な施策の方向性

(⑤豊かな自然や水と緑)



【その他】

- ・街路樹を増やす
- ・ウォーキングコースの整備
- ・桜を植樹し「桜の町」づくり
- ・熊対策

⑥ ふるさとの景観づくりについて

○ふるさとの景観づくりについては、「3. ダイヤモンド富士や山々の眺望、山地や林道からの甲府盆地の眺望など、良好な眺望景観の保全と活用」が 20.7%と最も高く、突出しています。次に、「8. 増穂 IC 周辺や既存の観光拠点周辺など、地域のシンボルとなる景観づくりの推進」が 14.7%、「2. 富士川などの河川、大柳川渓谷や妙連の滝、八雲池などの水辺景観の保全」が 10.5%と続き、その他はおおむね近似した傾向を示しています。反対に、景観のルールづくりや農村風景、里山景観の保全と活用などは低くなっています。

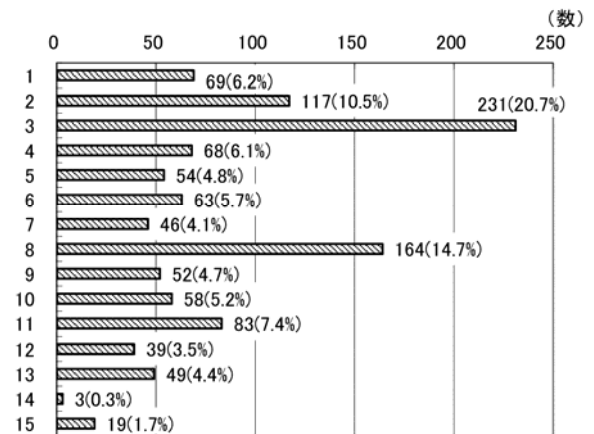
○景観づくりについては、眺望景観や水辺景観の保全・活用、増穂 IC や観光拠点を活用したシンボル景観づくり、景勝地選定など景観形成活動の推進と PR の充実などを望む傾向が強くなっています。

○その他では、眺望を活かした散策路整備、山の維持管理による災害の防止などの意見がみられます。

1. 楡形山や源氏山をいただく県立南アルプス巨摩自然公園の広大な森林景観の保全
2. 富士川などの河川、大柳川渓谷や妙連の滝、八雲池などの水辺景観の保全
3. ダイヤモンド富士や山々の眺望、山地や林道からの甲府盆地の眺望など、良好な眺望景観の保全と活用
4. 富士川舟運の河岸、駿信・駿州往還の要衝地などの往時を偲ばせるまちなみ景観づくり
5. 太鼓堂や鵜沢河岸跡・禹の瀬などの由緒ある史跡・文化財の保全と活用
6. 地域の社寺、大木・古木、祠、道祖神など、身近な景観資源の保全と活用
7. 平林の棚田などのふるさとの美しい農村風景や里山景観の保全と活用
8. 増穂 IC 周辺や既存の観光拠点周辺など、地域のシンボルとなる景観づくりの推進
9. 山間集落や市街地周辺などの各地域にふさわしい景観まちなみ誘導
10. 天神社祭典など地域景観を特徴づける祭り、行事・伝統文化の継承
11. 景勝地や「富士川町八景」の選定など、景観形成活動の推進と PR の充実
12. まちなみ景観に関する地域のルールづくりなど、住民参加による景観づくりの促進
13. 自然環境や歴史文化的な景観を守り、活かす「景観条例」や「景観計画」の策定
14. その他
15. 不明

◆具体的な施策の方向性

（⑥ふるさとの景観づくり）



【その他】

- ・眺望を楽しむウォーキングコースの整備
- ・山を手入れし自然災害を防ぐ

⑦ 公共施設や公園などの生活基盤について

○公共施設や公園などの生活基盤については、「4. 文化施設や図書館、スポーツ施設などの生涯学習や健康増進のための施設の整備充実」が 20.0%、「1. 大法師公園や殿原スポーツ公園など、多くの人々が利用する公園・緑地の整備充実」が 19.2%とともに高く、次に、「3. 子どもの遊び場など、身近な親しみある公園やポケットパーク等の整備」が 15.7%、「8. 老朽化した公営住宅の改善、若い世帯や高齢者等への計画的な公営住宅の整備推進」が 13.3%と続き、施策の方向性としては、ややバラツキのある傾向となっています。一方、新たな河岸跡公園の整備などは低くなっています。

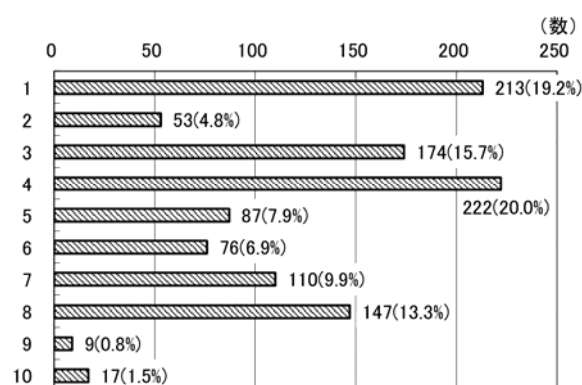
○生活基盤については、文化施設等の交流施設や多くの人々が利用する公園・緑地、身近な公園・広場の整備、老朽化した公営住宅の改善と定住促進のための計画的な公営住宅整備、また、宅地整備や住環境整備などを望む傾向が強くなっています。

○その他では、公営住宅整備や入居条件について、文化施設整備、施設の維持管理などの意見がみられます。

1. 大法師公園や殿原スポーツ公園など、多くの人々が利用する公園・緑地の整備充実
2. 町民や来訪者の新たな交流空間となる河岸跡公園の整備推進
3. 子どもの遊び場など、身近な親しみある公園やポケットパーク等の整備
4. 文化施設や図書館、スポーツ施設などの生涯学習や健康増進のための施設の整備充実
5. 公民館など地域コミュニティの核となる公共施設の整備充実
6. 上・下水道の整備、下水道処理区域外での合併処理浄化槽の設置促進
7. 町有地の有効活用など、定住促進のための質の高い宅地整備、住環境整備の推進
8. 老朽化した公営住宅の改善、若い世帯や高齢者等への計画的な公営住宅の整備推進
9. その他
10. 不明

◆具体的な施策の方向性

(⑦公共施設や公園などの生活基盤)



【その他】

- ・若い世帯が住みたくするような公営住宅の整備
- ・独身者でも公営住宅に住めるようにする
- ・図書館の充実
- ・観光のまちにふさわしい中山間地におけるトイレ等の整備・維持管理の徹底
- ・アマチュアイベンド演奏の場をつくる
- ・既存市街地の環境向上と不動産資産流動化への支援

⑧ 防災・防犯について

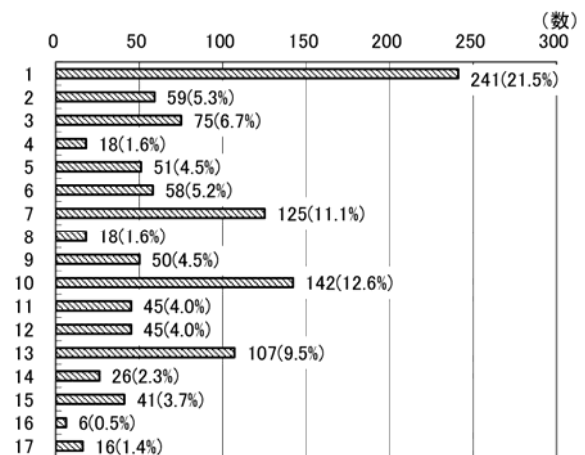
○防災・防犯については、「1. 地震や水害などの自然災害対策の強化」が 21.5%と突出して高く、次に、「10. 地域医療施設と連携した救急医療体制の整備」が 12.6%、「7. 災害時の避難場所や備蓄倉庫の整備」が 11.1%と続き、上位以外は比較的バラツキのある傾向となっています。反対に、水防強化の推進や消防水利施設の充実などは低くなっています。

○防災・防犯については、自然災害対策の強化を第一として、救急医療体制の整備や災害時における避難所・備蓄倉庫の整備、正確で迅速な情報伝達システムの充実などを望む傾向が強くなっています。

○その他では、現状の防災無線の改善、医療施設の充実、災害時の備蓄確保などの意見がみられます。

1. 地震や水害などの自然災害対策の強化
2. 急傾斜地の崩壊や地滑りなどに対する治山対策の強化
3. 豪雨時の内水氾濫対策や河川改修の整備促進など、治水機能の強化
4. 河川防災ステーション・水防センター整備による水防強化の推進
5. 避難路となる道路網整備、物資運搬や救援時の高速道路の活用、橋梁の点検・整備の充実
6. 老朽・密集した住宅地の環境改善（狭い道路、行き止まり道路の解消、建物の不燃化など）
7. 災害時の避難場所や備蓄倉庫の整備
8. 防火水槽、消火栓などの消防水利施設の充実
9. 家屋耐震化の普及と公共公益施設の耐震化の推進
10. 地域医療施設と連携した救急医療体制の整備
11. 緊急ヘリコプター着陸所整備など、災害時孤立集落対策の推進
12. 防犯灯の設置やスクールガードなどの防犯パトロールの推進
13. 避難・救助・緊急通信などの正確で迅速な情報伝達システムの充実
14. 防災訓練の充実など、町民の防災・防犯意識の高揚と啓発
15. 消防団など自主防災組織・防犯組織やボランティアの育成と支援
16. その他
17. 不明

◆具体的な施策の方向性（⑧防災・防犯）



【その他】

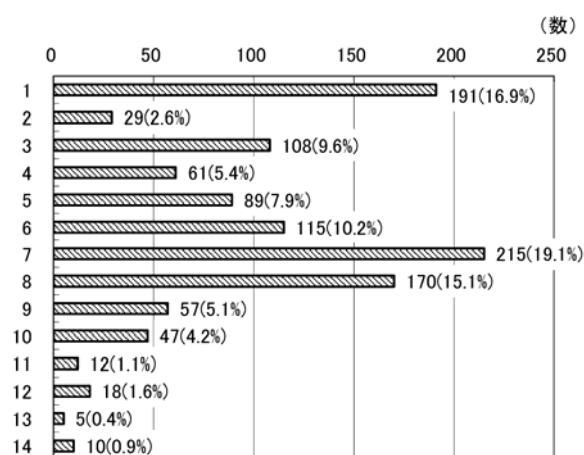
- ・町内放送を聞き取れるように改善（2）
- ・医療施設の充実
- ・災害時の飲料用水槽の確保
- ・災害時ための食料の準備
- ・消防団は希望者が少なく、本職に任せてなくしたほうが良い

⑨ 福祉について

- 福祉については、「7. 近隣の医療機関との連携による救急医療や地域が連携した地域医療体制の充実」が 19.1%と最も高く、次に、「1. 老人ホームや介護支援センターなどの福祉施設の充実」が 16.9%、「8. 子どもを産み、育てやすい環境づくりなど、少子化対策の充実」が 15.1%と続き、上位3つが突出しています。その他は、比較的バラツキのある傾向となっています。反対に、青少年の健全育成に向けた相談窓口や体制づくり、ボランティアの育成と支援充実などは低くなっています。
- 福祉については、地域医療体制の充実を第一に、高齢者福祉施設や少子化対策の充実、生きがいづくりや就労の場の確保などの支援体制づくり、介護医療サービスの充実などを望む傾向が強くなっています。
- その他では、在宅介護への支援体制づくり、健康増進施設や交流の場づくりなどの意見がみられます。

1. 老人ホームや介護支援センターなどの福祉施設の充実
2. バス停や町民利用施設など、施設のバリアフリー整備、ユニバーサルデザインの導入促進
3. 訪問看護など、介護医療サービスの充実
4. 高齢者に対応した公営住宅の整備や住宅の新築・リフォームへの支援充実
5. 福祉バス・福祉タクシーなど、交通手段の充実
6. 高齢者や障害者の生きがいづくり、働く場の確保などの支援体制づくり
7. 近隣の医療機関との連携による救急医療や地域が連携した地域医療体制の充実
8. 子どもを産み、育てやすい環境づくりなど、少子化対策の充実
9. 保育所や地域子育て支援センターの設置など、子育て支援施設の整備・充実
10. 廃校の活用、余裕教室や空き施設を活用した福祉・交流施設の充実
11. 青少年の健全育成に対する相談窓口や体制づくり
12. 福祉ボランティアの育成と活動への支援充実
13. その他
14. 不明

◆具体的な施策の方向性（⑨福祉）



【その他】

- ・在宅の老々介護への支援体制の充実（2）
- ・体力づくりのための場所、設備の整備・充実
- ・幼児と高齢者との交流の場をつくる
- ・手軽に福祉の資格が取れるような仕組みづくり

⑩ 環境に配慮したまちづくりについて

○環境に配慮したまちづくりについては、「8. 風力・太陽光発電などの省エネルギー対策、バイオマスなどの自然エネルギーの導入」が 19.3%と最も高く、次に、「11. 住民一人一人の地域環境に対する意識の向上、マナーやルールの遵守」が 17.9%で、この2つがやや突出しています。次に、「3. リサイクルステーションの設置充実による効率的なごみ処理体制の推進」が 13.2%、「2. ごみの減量や資源ごみの分別回収など、ごみの再資源化の推進」が 11.9%と続き、その他は、比較的バラツキのある傾向となっています。反対に、環境に配慮した交通環境対策や環境保全や美化活動への支援充実などは低くなっています。

○環境に配慮したまちづくりについては、省エネ・自然エネルギーの導入や地域環境に対する住民の意識向上、マナーやルールの遵守、効率的なごみ処理体制やごみの再資源化の推進を望む傾向が強くなっています。

○その他では、ゴミ収集への意向、ソーラー発電への助成、花いっぱいのもちづくりなどの意見がみられます。

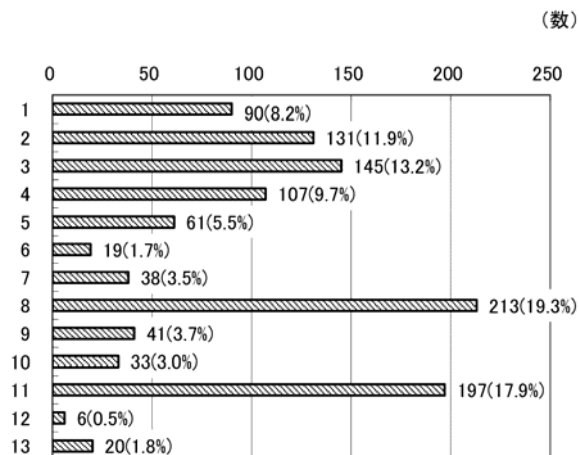
1. リサイクル促進や二酸化炭素の排出抑制など、地域からの地球環境対策の推進
2. ごみの減量や資源ごみの分別回収など、ごみの再資源化の推進
3. リサイクルステーションの設置充実による効率的なごみ処理体制の推進
4. ごみの不法投棄の未然防止、監視活動の強化
5. 悪臭、騒音、振動、水質汚濁など、公害防止対策の推進
6. 自家用車利用の抑制など、環境に配慮した交通環境対策の促進
7. 自然型工法^{*3}の導入など、環境に配慮した施設整備の促進
8. 風力・太陽光発電などの省エネルギー対策、バイオマス^{*4}などの自然エネルギーの導入
9. 有機農業や減農薬農業など環境保全型農業の推進
10. NPOやボランティアによる環境保全活動、まちの美化・清掃活動への支援充実
11. 住民一人一人の地域環境に対する意識の向上、マナーやルールの遵守
12. その他
13. 不明

*3 多自然型工法：本来その場所がもっている生物環境に配慮し、生物生息環境や自然景観の保全・創出を目指した工法

*4 バイオマス：再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源（石油など）を除いたもの。バイオマスから得られるエネルギーはバイオマスエネルギーと呼ばれる。バイオマスの例としては、廃棄される紙、家畜排泄物、食品廃棄物、稲わら、もみ殻、間伐材等さまざまなものがあげられる

◆具体的な施策の方向性

（⑩環境に配慮したまちづくり）



【その他】

- ・資源ゴミの定期回収
- ・ソーラー発電への助成
- ・花いっぱいの町にする
- ・ゴミを分別しない方法を検討
- ・役場職員が率先して車を使わないようにする

3) 参加のまちづくりについて

設問4 ◆まちづくりへの参加について

まちづくりには町民の皆さんの協力が必要です。あなたはどのようなかたちで参加したいと思いますか。 【1つ選択】

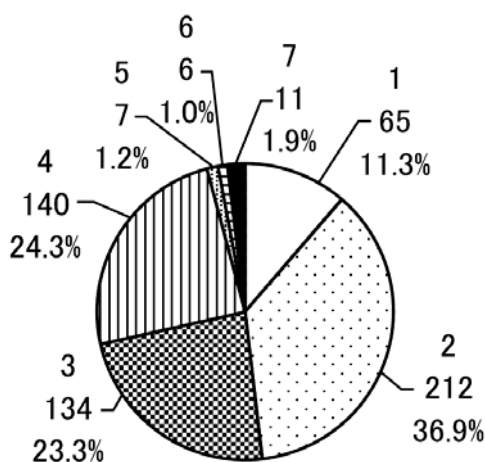
○まちづくりへの参加については、「2. 内容によっては参加する」が 36.9%と最も高く、次に、「4. 参加はできないが何らかの協力はしたい」が 24.3%、「3. 地域の集まりやまちなどで求められれば参加する」が 23.3%となっています。

○「5. 参加も協力もしたいと思わない」は 1.2%と低く、「1. 積極的に参加したい」は 11.3%あり、何らかの参加意向は 71.5%と高い傾向を示しており、この参加の環境づくりが今後の課題であり、協働のまちづくりへ向けた重要な足がかりになるものと考えられます。

○その他では、参加意向はあるものの、個別の事情や具体的な協力意向などの意見がみられます。

1. 積極的に参加したい
2. 内容によっては参加する
3. 地域の集まりやまちなどで求められれば参加する
4. 参加はできないが何らかの協力はしたい
5. 参加も協力もしたいと思わない
6. その他
7. 不明

◆まちづくりへの参加



【その他】

- ・土日・祭日が仕事のため参加できない
- ・できることから参加している
- ・入院中のため参加できない
- ・高齢のため参加できず残念

設問5 ◆まちづくりの体制づくりについて

まちづくりを進めていくにあたって、あなたが行政に望む取り組み体制を次からお選び下さい。

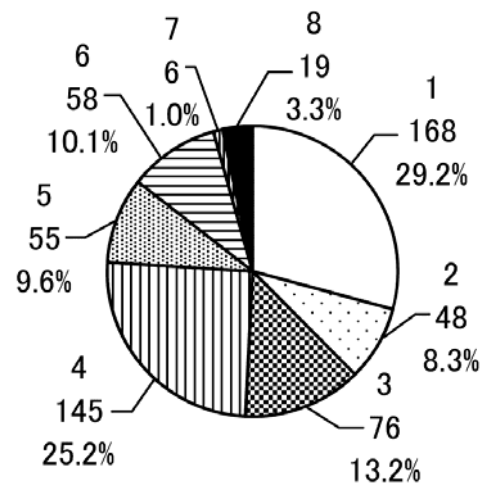
【1つ選択】

○行政に望むまちづくりの体制づくりについては、「1. まちの広報やお知らせなどで、まちづくりに関する情報公開やPRを充実する」が29.2%と最も高く、次に、「4. アンケート結果などの住民意向を公開し、充分反映する」が25.2%、「3. まちづくりの説明会や勉強会を開くなどの機会を充実する」が13.2%、「6. 地域の自主的なまちづくり活動に対する助成や専門家派遣などの積極的な支援を行う」が10.1%と続いています。

○まちづくりの体制づくりについては、情報公開やPRの充実と住民意向の反映とともに、まちづくり説明会などの機会・場の充実、住民の自主的活動に対する支援などを望む傾向が高くなっています。

○その他では、インターネット活用や住民参加の充実、行財政運営への意向などの意見がみられます。

1. まちの広報やお知らせなどで、まちづくりに関する情報公開やPRを充実する
2. まちづくりに関する意見や相談を聞く窓口を充実する
3. まちづくりの説明会や勉強会を開くなどの機会を充実する
4. アンケート結果などの住民意向を公開し、充分反映する
5. 町民参加によるまちづくりを支える条例や制度などの仕組みを整える
6. 地域の自主的なまちづくり活動に対する助成や専門家派遣などの積極的な支援を行う
7. その他

◆まちづくりの体制づくり**【その他】**

- ・インターネットを活用した情報公開やPR、住民参加の充実
- ・行政の印刷物等は町内の業者に委託する
- ・生活困難な人達でも暮らしていけるまちづくり
- ・わからない

設問6 ◆協働のまちづくりについて

まちづくりを進めていくには、住民や行政、事業者等が協力し合う協働体制が重要です。あなたが重要と思われるものを次よりお選び下さい。 【1つ選択】

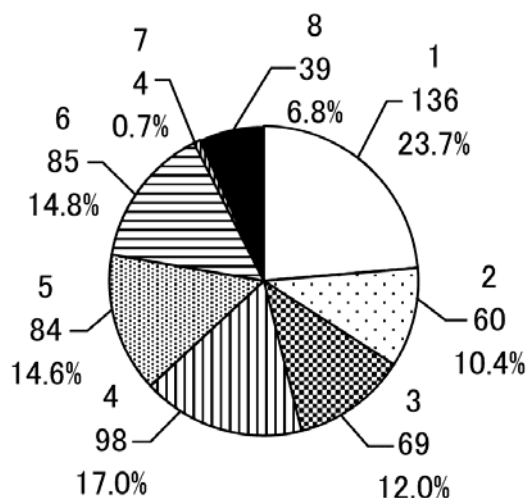
○協働のまちづくりについては、「1. 「まちづくり会議」など行政や住民等が意見を交換する場をつくる」が23.7%と最も高く、次に、「4. 地域の自発的なまちづくり活動を支援・助成する仕組みをつくる」が17.0%、「6. まちづくりのリーダーとなる人材を育てる仕組みをつくる」が14.8%と続いています。

○協働のまちづくりについては、意見交換の場づくりや自発的なまちづくり活動への支援・助成の仕組みづくり、リーダーとなる人材育成、協働による町独自のルールや制度づくりなどを望む傾向が強くなっています。

○その他では、率先した行政職員の意識向上、住民からの意見聴取、他事例の参考などの意見がみられます。

1. 「まちづくり会議」など行政や住民等が意見を交換する場をつくる
2. 協議会など地域・地区単位のまちづくり組織を充実する
3. 多様なまちづくり活動を助言・支援する「まちづくりセンター」的な組織をつくる
4. 地域の自発的なまちづくり活動を支援・助成する体制をつくる
5. 町民と行政等が協力して町独自の条例や要綱などのルールや制度をつくる
6. まちづくりのリーダーとなる人材を育てる仕組みをつくる
7. その他

◆協働のまちづくり



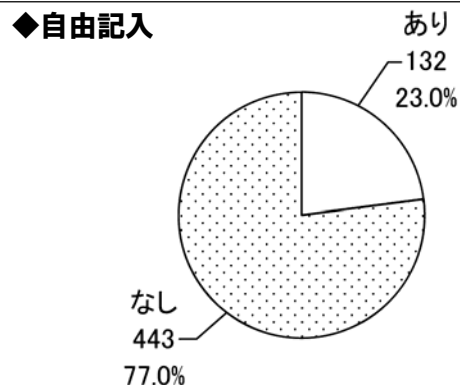
【その他】

- ・まず役場職員の意識・質の向上を図る(2)
- ・行政から学校や施設に出向き住民の生の声を聴く
- ・成功している他の町を参考にする
- ・わからない

(2) 自由記入のまとめ

◆自由記入 ーまちづくりに関するご意見・ご提案の自由記入ー

- 自由記入は、全体で 132 票、23.0%の記入がありました。
- 主な意見・提案等は、主要なまちづくりの項目に分類し、下記に整理しています。(() 内の数は類似意見の総数です)



① 観光・活性化

○自由記入では、観光や活性化に関する意見・提案が最も多くありました。中でも定住促進や雇用の確保、空き家等の有効活用など人口増による活性化の意向が多く、また、自然等の地域資源を活かした活性化、商店街の活性化や商業施設の誘致、施設活用や特産品による活性化、イベント開催やまちのPR推進などによる活性化などの意見がみられます。

- ・若者の定住促進 (7)
- ・商店街の活性化を推進 (6)
- ・自然や歴史文化を活かし、名所や名産品をPR (3)
- ・若者の雇用の確保 (2)
- ・山間部の定住促進 (2)
- ・空き家を有効活用し、居住できるようにする (2)
- ・人口の増加を図る
- ・東部開発構想の推進
- ・八米道路以西にもっと視点を置く
- ・大型商業施設の誘致
- ・商店街に駐車場の整備
- ・道の駅と温泉施設を整備し集客アップを図る
- ・新しい施設整備より古民家や廃校を観光に活用する
- ・宿泊施設の整備
- ・中部横断道とリニア中央新幹線が一緒に見える場を観光の目玉にする
- ・平林の眺望と自然環境を活かした観光開発
- ・特産品のブランド化
- ・町内産の安心・安全な野菜の直売所をつくる
- ・高知県馬路村のゆず加工や販売方法を学び活性化につなげる
- ・地域の特色を活かす
- ・専門学校等を誘致し若者を呼び込む
- ・自然豊かな環境を活かしたイベントの開催 (天体観測会、自然散策等)
- ・サッカーコートを整備し大会開催などのより活性化につなげる
- ・もっと町をPRする
- ・イベント情報の発信

② 土地利用

○土地利用については、大型店誘致や公営住宅などの住宅地整備、空き家・空き地対策、耕作放棄地・遊休農地等の改善などの意見があります。

- ・IC、バイパス周辺への大型店の誘致、宅地開発

- ・公営住宅の整備、宅地開発
- ・空地を活用し一戸建て住宅地を整備
- ・空き家・空き地対策
- ・荒れた休耕地の対策

③ 道路・交通

○道路・交通については、公共交通の充実や身近な生活道路の改善、中部横断自動車道、増穂 IC 周辺整備、地域をアクセスする道路や町内道路網の改善・整備などの意見があります。

- ・公共交通機関の充実（３）
- ・生活道路の整備・拡幅（３）
- ・中部横断自動車道の延長
- ・増穂 IC 周辺に緑を残しつつ充実した SA や PA を整備
- ・道路網の整備・拡充
- ・身延線を利用しやすくするための交通アクセスの整備
- ・合併し富士川町になったので八道の道路を検討
- ・駅前に駐車場の整備
- ・観光客や町民が 100 円くらいで乗れるバス等の公共交通の整備
- ・信号機を LED に替える

④ 自然・緑

○自然・緑については、自然環境の保全とまちづくりへの活用、緑化の推進、河川の自然護岸整備などの意見があります。

- ・自然を残す（４）
- ・豊かな自然を活かしたまちづくり（３）
- ・緑化の推進（２）
- ・自然や田畑を保全するまちづくり
- ・自然の川のような護岸にする

⑤ 景 観

○景観については、散策ルートや登山道の整備、桜の名所づくり、景観を阻害する要因の改善、自然や景観を守るための条例づくりなどの意見があります。

- ・自然・歴史景観を活用した散策ルートづくり
- ・平林の由緒ある氷室神社を起点とした櫛形山への登山コースの整備
- ・大法師公園と殿原公園の桜を結びつけ桜の名所にする
- ・リニアの下を桜の並木通りにする
- ・空き家の有効活用
- ・景観を損ねる立て看板の撤去
- ・自然や景観を守るための条例をつくる

⑥ 生活基盤・施設整備

○生活基盤・施設整備については、図書館の整備・充実についての意見が多く、また、町営住宅の改善や下水道整備、公園や町民利用施設の整備・充実などの意見があります。

- ・図書館の整備・充実（７）
- ・鰯沢町側の上水道の水質改善
- ・古くなった町営住宅の建て替え
- ・下水道の整備
- ・文化ホールの充実・活用
- ・子供から大人まで集える大きな公園や施設の整備
- ・ペットと一緒に出掛けられる公園、スポットの整備

- ・大規模な室内温泉プールの整備
- ・町民が気軽に体力づくりできる設備の充実
- ・町営温泉は一つにして経費の節減
- ・光ケーブルの整備（中部地区）
- ・既存公共施設を使いやすく改善する
- ・地区によって偏らないバランスのとれた施設整備
- ・施設等はその場しのぎでなく先々を考え整備する

⑦ 防災・防犯

○防災・防犯については、防犯に向けた街灯設置や防犯対策の強化、災害に強いまちづくり、防災体制の強化や防災施設・設備の整備、医療体制の強化、浸水対策などの意見があります。

- ・街灯を増やす（２）
- ・災害に強い町にする（２）
- ・災害時の高齢者の避難、医療体制の強化（２）
- ・パトロールなどを強化し犯罪を防止する（２）
- ・地域防災体制の整備
- ・豪雨時の浸水対策（青柳地区）
- ・戸川の水深を確保し水害を防ぐ
- ・狭い道路の拡幅
- ・災害時に井戸が利用できるようにする
- ・避難場所にならないような公園は整備しない
- ・子供達が安心して学校に通えるまちに

⑧ 福祉・教育

○福祉・教育については、安心して暮らせる福祉に重点をおいたまちづくりを第一に、高齢者利用の公共交通の充実、医療施設の充実、子育てしやすいまちづくり、教育施設のあり方などの意見があります。

- ・福祉に重点を置いたまちづくり（５）
- ・高齢化に伴う買い物や通院等への対策（５）
- ・病院の整備・充実（４）
- ・高齢者や家族が安心して暮らせるまちづくり（３）
- ・子供の遊び場を増やす（２）
- ・子育てしやすい町
- ・子育て中の親や介護者への支援、安心できる場をつくる
- ・安価で福祉・育児サービスが受けられる仕組みをつくる
- ・子育て、教育に力を入れる
- ・増穂西小と増穂南小を増穂小に併合し、経費を削減
- ・増穂西小と増穂南小の存続
- ・保育所の預かり時間の延長
- ・文化ホールはクラシックコンサートなどに使い、もっと文化度の高い町にする
- ・安価で人間ドックを受けられるようにする

⑨ 環境

○環境については、自然エネルギー利用や省エネ等による環境への取り組み、河川浄化、ゴミ収集に関する意向やルール・マナーなどの意見があります。

- ・森林を手入れし建材やバイオマス燃料などに利用、温暖化防止や産業振興につなげる
- ・ソーラー発電の整備
- ・河川の浄化
- ・粗大ゴミは持ち込み制から収集制にし、不法投棄を減らす
- ・ゴミ収集は曜日制でなく年間を通して予定を決める
- ・脱原発、省エネの発想で環境に取り組む
- ・ゴミのポイ捨てを防止

⑩ まちづくり全般について

○まちづくり全般では、住民が誇りをもち安心して暮らせるまちづくり、地域の絆や連携のとれたまちづくり、地域資源の活用や具体的なまちづくりの進め方など、多様な意見があります。

- ・子供から高齢者まで全ての住民が住みやすいまちづくり（５）
- ・ビジョンを明確にし長期的視点に立ったまちづくり（３）
- ・住民が誇りを持てるようなふるさとづくり（２）
- ・誰もが安心して暮らせるまちづくり（２）
- ・まず地域から進め町全体につなげる（２）
- ・地域の絆を大切に（２）
- ・子供たちが住み続けたいと思うような魅力あるまちにする
- ・コミュニケーションを大切に温かみのあるまちづくり
- ・「暮らしと自然が輝く交流のまち」にしたい
- ・古い文化を大切にしながら新しい感覚を取り入れる
- ・特産品や自然などの魅力を活かしたまちづくり
- ・斬新な発想とアイデアで、周りからすごいと言われるような事業を期待
- ・成功している市町村の事例を参考とする
- ・利便性の追求ではなく、不便を不便と感じさせない工夫をする
- ・お金をかけないで心豊かにまちづくりを進める方法を考える
- ・人口増加や企業誘致等による活性化策より、住民の何気ない要望が届く町政に
- ・「問題のある町」という悪いイメージを変えていきたい
- ・ますます飛躍して欲しい

⑪ 住民参加・協働体制

○住民参加・協働体制については、若い世代の意向聴取、協働体制の重視、人材育成、まちづくり組織や場づくり、住民参加の仕組みづくり、まちづくりへの意識啓発などの意見・提案があります。

- ・年配者だけでなく若い世代の意見を取り入れる（３）
- ・住民と行政の協働体制をつくる（２）
- ・元気なお年寄りに参加してもらい、生きがいづくり・活性化につなげる（２）
- ・リーダーとなる人材の育成（２）
- ・行政と住民が話し合うまちづくり
- ・地域ごとにまちづくり組織をつくる
- ・各区、各組から「まちづくり委員」を選出し、意識の向上や連帯感を持たせる
- ・無理なく自主的に参加できる機会があると良い
- ・若者の意見をインターネットで集め偏りのない意見集約をする
- ・若者、女性、学生、児童なども参加しやすいようにする
- ・住民の意識の向上を図る
- ・行政と住民が本気になって取り組む
- ・具体的な事業内容・目に見える成果を住民に示す
- ・基本的な案は町がつくり、それを住民に問う
- ・地区のイベントは強制参加でなく、自由参加にする
- ・町・区・学校等の行事が多いので簡素化する

⑫ 行政改革・施策などについて

○行政改革については、行政体制の向上や意識改革、税金の有効活用、窓口の利便性向上、また、震災に関連する意見など、多様な意見があります。

- ・役場職員の意識改革、質の向上を望む（２）
- ・役場職員の人員削減（２）
- ・震災のガレキを受け入れる（２）
- ・税金、人件費の削減に取り組んで欲しい
- ・交代制で土日も役場窓口を開けて欲しい
- ・各課の横断的な連携を強化する
- ・町内の業者を使う
- ・頑張ってください

⑬ アンケート調査について

○アンケート調査については、結果のまちづくりへの活用、アンケート設問や実施への意見、結果の公開などの意見があります。

- ・アンケート結果をまちづくりに活用する（３）
- ・アンケート調査は費用の無駄遣い（２）
- ・アンケート結果はインターネットのみでなく封書でも知らせてほしい
- ・質問内容がわかりづらい。もっと読みやすい文章にして欲しい
- ・増穂町といえば文化の香り高い町と言われたが、問５の選択肢にないのが疑問

4. 地域別調査結果

(1) 地域別調査結果の分析とまとめ

1) 都市・田園地域

◆まちの将来像

○富士川町のイメージは、「大法師公園のさくら、妙法寺のあじさい、林道沿いの紅葉など、四季折々の彩りがあるまち」が約 25%と高く、「ダイヤモンド富士などの眺望や市街地から望む山々の風景など、美しい風景に恵まれたまち」が続いています。

◆今後のまちづくり

○まちづくりでは、約 22%が「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進」を重視し、次に「高速交通網整備やIC 周辺開発など、まちの発展に力を注ぎ活力を高める」が続いています。

○個々に優先すべき施策は次のとおりです。

- ・まちの発展・活性化は、「まちの中心となる市街地の活性化」と「既存商店街への支援充実」を優先
- ・土地の使い方は、「空き家・空き地など住環境の改善」、「増穂 IC 周辺の計画的な土地利用の推進」を優先
- ・道路・交通は、「公共交通機関の充実と JR 身延線へのアクセス強化」、「道の駅の整備促進」を優先
- ・観光は、「祭り・イベントの充実と PR の推進」、「新たな観光集客施設の整備促進」を優先
- ・自然や水と緑は、「美しい水辺環境の保全」、「貴重な動植物の生息環境の保全」を優先
- ・景観は、「良好な眺望景観の保全と活用」、「地域のシンボルとなる景観づくりの推進」を優先
- ・生活基盤は、「文化施設やスポーツ施設などの整備充実」、「多くの人が利用する公園・緑地の整備充実」を優先
- ・防災・防犯は、「自然災害対策の強化」、「地域医療施設と連携した救急医療体制の整備」を優先
- ・福祉は、「医療機関や地域と連携した医療体制の充実」、「福祉施設の充実」を優先
- ・環境は、「省エネ対策・自然エネルギーの導入」、「意識の向上、マナーやルールの遵守」を優先

◆参加のまちづくり

○まちづくりへの参加意向は「内容により参加する」が約 35%あり、行政の取り組み体制は「まちづくりに関する情報公開やPRの充実」が約 31%、「住民意向の公開と反映」が約 25%、協働のまちづくりは「行政や住民等が意見交換する場をつくる」が約 25%となっています。

◆自由記入 ～約 23%の記入があります～

2) 平林・穂積地域

◆まちの将来像

○富士川町のイメージは、「ダイヤモンド富士などの眺望や市街地から望む山々の風景など、美しい風景に恵まれたまち」が 34%と高く、「大法師公園のさくら、妙法寺のあじさい、林道沿いの紅葉など、四季折々の彩りがあるまち」が続いています。

◆今後のまちづくり

○まちづくりでは、約 24%が「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進」を重視し、次に「各地域の特性を踏まえたバランスのとれた地域格差のないまちづくりの推進」が続いています。

○個々に優先すべき施策は次のとおりです。

- ・まちの発展・活性化は、「特産品による地域ブランドづくり」、「定住促進や雇用機会確保のための工業用地整備、優良企業の誘致促進」を優先
- ・土地の使い方は、「空き家・空き地など住環境の改善」、「遊休農地、耕作放棄地等の有効活用」を優先
- ・道路・交通は、「生活道路の確保と地域間交通ネットワークの確立」を第一に、「身近な生活道路の改善」、「公共交通機関の充実と JR 身延線へのアクセス強化」を優先
- ・観光は、「町内三筋と観光拠点を結ぶ観光周遊ルートの整備」、「景勝地周辺の保全と活用」を優先



平林・穂積地域続き・・・

- ・自然や水と緑は、「鳥獣害対策の推進」、「美しい水辺環境の保全」を優先
- ・景観は、「良好な眺望景観の保全と活用」、「平林の棚田など農村風景や里山景観の保全と活用」を優先
- ・生活基盤は、「身近な公園やポケットパークの整備」を第一に、「多くの人々が利用する公園・緑地の整備充実」、「老朽化した公営住宅の改善、計画的な公営住宅の整備推進」を優先
- ・防災・防犯は、「自然災害対策の強化」、「地域医療施設と連携した救急医療体制の整備」を優先
- ・福祉は、「少子化対策の充実」を第一に、「福祉施設の充実」、「介護医療サービスの充実」、「医療機関や地域と連携した医療体制の充実」を優先
- ・環境は、「省エネ対策・自然エネルギーの導入」、「意識の向上、マナーやルールの遵守」を優先

◆参加のまちづくり

○まちづくりへの参加意向は「内容により参加する」が約 41%あり、行政の取り組み体制は「自主的なまちづくり活動への助成や専門家派遣等の支援」が約 30%、「住民意向の公開と反映」が約 26%、協働のまちづくりは「自発的なまちづくり活動を支援・助成する体制づくり」が約 22%となっています。

◆自由記入 ～約 33%の記入があります～

3) 五開・中部地域

◆まちの将来像

○富士川町のイメージは、「大法師公園のさくら、妙法寺のあじさい、林道沿いの紅葉など、四季折々の彩りがあるまち」が約 31%と高く、「富士川舟運の歴史文化を継承するまち」が続いています。

◆今後のまちづくり

○まちづくりでは、約 24%が「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進」を重視し、次に「恵まれた自然環境を守り、活用する」が続いています。

○個々に優先すべき施策は次のとおりです。

- ・まちの発展・活性化は、「地域情報を発信する情報通信環境の整備」、「大規模店舗の誘致促進」を優先
- ・土地の使い方は、「空き家・空き地など住環境の改善」、「遊休農地、耕作放棄地等の有効活用」を優先
- ・道路・交通は、「生活道路の確保と地域間交通ネットワークの確立」、「身近な生活道路の改善」を優先
- ・観光は、「祭り・イベントの充実とPRの推進」、「新たな観光集客施設の整備促進」を優先
- ・自然や水と緑は、「美しい水辺環境の保全」、「鳥獣害対策の推進」を優先
- ・景観は、「水辺景観の保全」を第一に、「良好な眺望景観の保全と活用」、「地域のシンボルとなる景観づくりの推進」を優先
- ・生活基盤は、「多くの人々が利用する公園・緑地の整備充実」、「老朽化した公営住宅の改善、計画的な公営住宅の整備推進」を優先
- ・防災・防犯は、「自然災害対策の強化」、「正確で迅速な情報伝達システムの充実」を第一に、「災害時の避難場所や備蓄倉庫の整備」を優先
- ・福祉は、「少子化対策の充実」、「医療機関や地域と連携した医療体制の充実」を優先
- ・環境は、「省エネ対策・自然エネルギーの導入」、「意識の向上、マナーやルールの遵守」を優先

◆参加のまちづくり

○まちづくりへの参加意向は「内容により参加する」が約 51%あり、行政の取り組み体制は「まちづくりに関する情報公開やPRの充実」が約 26%、「住民意向の公開と反映」が約 23%、協働のまちづくりは「まちづくりのリーダーとなる人材育成の仕組みづくり」が約 26%となっています。

◆自由記入 ～約 23%の記入があります～

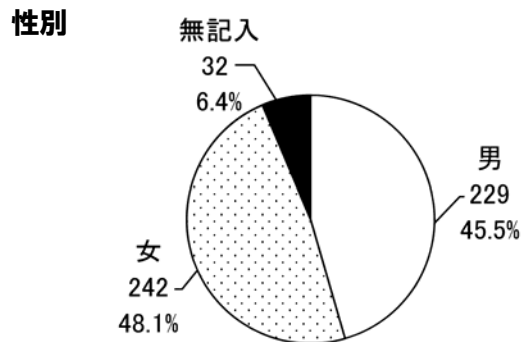
(2) 地域別集計結果

1) 都市・田園地域

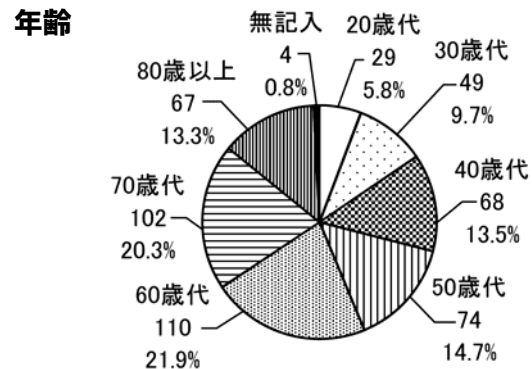
回答数：503 票

◆ 属 性

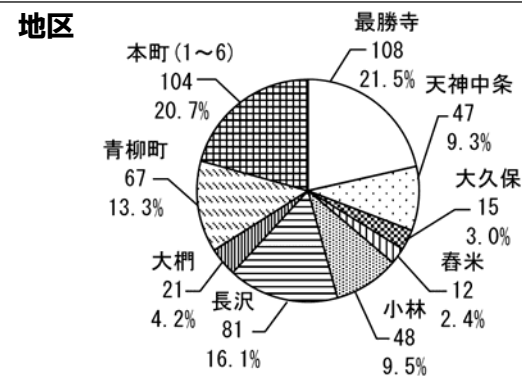
●性 別



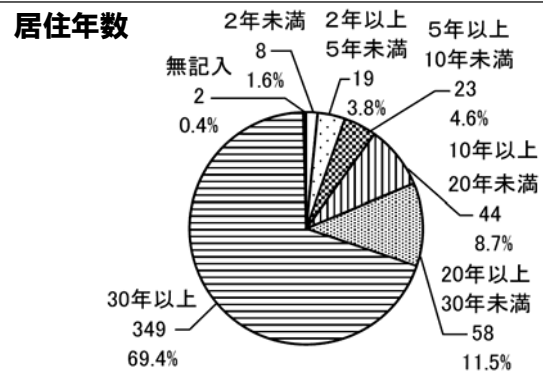
●年 齢



●住まいの地区



●居住年数

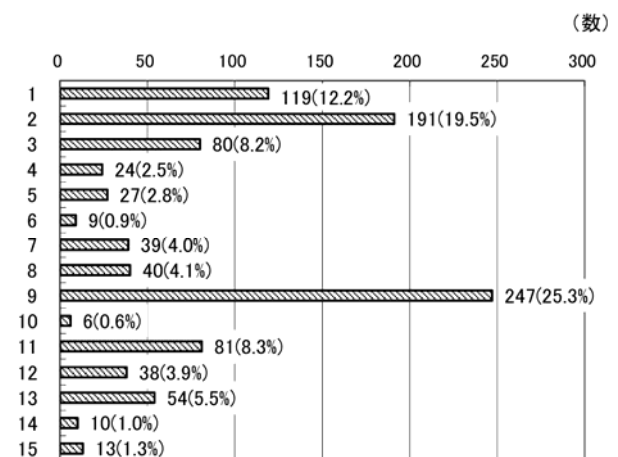


◆富士川町らしさ・まちのイメージ

設問1：まちの現在のイメージ

1. 楡形山や源氏山などの山岳や森林、美しい渓谷や滝、富士川の清流など、豊かな自然環境があるまち
2. ダイアモンド富士などの眺望や市街地から望む山々の風景など、美しい風景に恵まれたまち
3. 富士川舟運の拠点として繁栄した歴史文化を継承するまち
4. 太鼓堂、蓮華寺、明王寺等の史跡・文化財など、由緒ある歴史資源を守るまち
5. 平林の棚田、落ち着いた趣のある集落や里山など、故郷のなつかしい風景
6. 交流センター塩の華、あおやぎ宿活性館・追分館など、観光や交流が盛んなまち
7. 天神社祭典やふじかわ夏まつりなど、祭事・行事・イベントが盛んなまち
8. まほらの湯やかじかの湯などの名湯の憩いと安らぎがあるまち
9. 大法師公園のさくら、妙法寺のあじさい、林道沿いの紅葉など、四季折々の彩りがあるまち
10. 登山やハイキング、キャンプ場など身近なレクリエーションや自然体験の盛んなまち
11. 中部横断自動車道の整備など甲府盆地南西部の交通の要衝地として発展していくまち
12. 交通や日常の買い物などの利便性が整った暮らしやすいまち
13. 昔ながらの風習や地域の人々のふれあいが深いまち
14. その他
15. 不明

◆まちの現在のイメージ

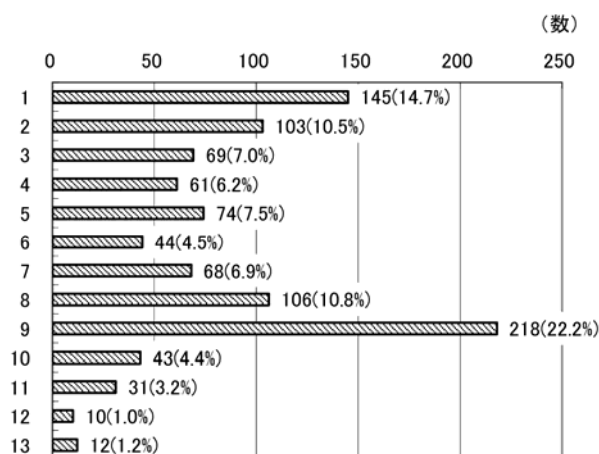


◆今後のまちづくりについて

設問2：まちづくりで重視する視点（施策）

1. 高速交通網整備やインターチェンジ周辺開発など、まちの発展に力を注ぎ活力を高める
2. 農林業、商工業、観光振興など産業振興により定住化を促進し、まちの活力を高める
3. 森林や農地などの無秩序な開発を抑制し、計画的な調和のとれた土地の使い方を進めていく
4. 幹線道路の整備や身近な生活道路の改善・整備、公共交通の充実など、交通環境の利便性を高める
5. 豊かな森林や河川・溪谷などの水辺、恵まれた自然環境を守り、活用する
6. 舟運などの歴史文化的景観、自然・里山景観、雄大な眺望など、ふるさとの美しい風景を守り、育てる
7. 公園や上・下水道、公共施設整備など、身近な生活基盤を充実する
8. 水害や地滑りなど、災害に強い安全なまちづくりを推進する
9. 子ども達や高齢者など、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する
10. 循環型社会^{*1}の形成に向けた取り組みなど、環境に配慮したまちづくりを推進する
11. 中山間地域など各地域の特性を踏まえ、バランスのとれた地域格差のないまちづくりを推進する
12. その他
13. 不明

◆まちづくりで重視する視点（施策）



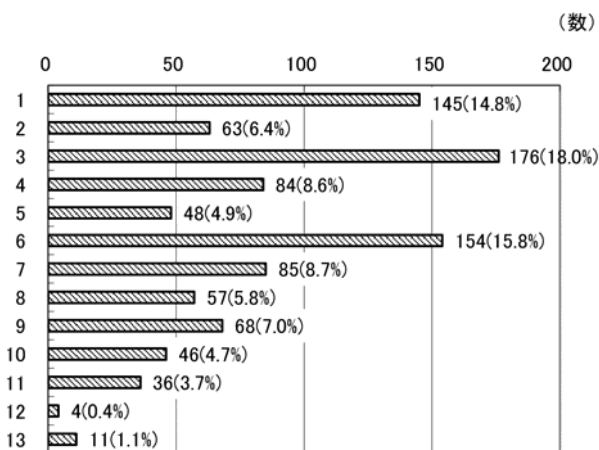
設問3：具体的な施策の方向性

① まちの発展・活性化

1. 定住促進や雇用機会確保のための工業用地整備、優良企業の誘致促進
2. 中部横断自動車道やリニア中央新幹線中間駅への広域アクセス道路の強化
3. 増穂 IC 周辺整備や東部地域開発など、まちの中心となる市街地の活性化
4. 自然環境や歴史文化など、特色ある地域資源を活用した観光振興
5. 周辺市町村や地域間を結ぶ幹線道路網整備など、交通基盤の整備充実
6. 空き店舗の活用、買い物弱者への対応など、既存商店街への支援充実による活性化
7. スーパーや複合商業施設など、大規模店舗の誘致促進
8. 観光農業の充実や生産基盤の充実、後継者・担い手育成などによる農林業の活性化
9. 朝市などの地産地消の促進と、ゆず、ラ・フランスなど特産品による地域ブランドづくり
10. 既存の伝統産業や中小企業への支援充実による地域活性化の推進
11. 地域情報を内外へ発信する情報通信（光ケーブルなど）環境の整備
12. その他
13. 不明

◆具体的な施策の方向性

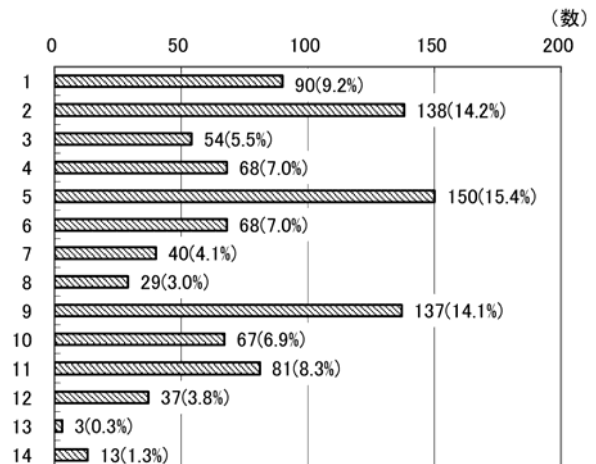
（①まちの発展・活性化）



② 調和のとれた土地の使い方

1. 東部地域開発の推進など、町の顔となる中心市街地の都市基盤整備の充実
2. 中部横断自動車道増穂 IC 周辺の計画的な土地利用の推進
3. 水辺プラザ、スポーツ施設整備など、水辺空間の有効活用
4. 工業地や商業地など、地域の実情に即した土地の有効利用の促進
5. 住宅地や集落地の住環境の向上、空き家・空き地対策などの住環境の改善
6. 水辺環境や森林などの豊かな自然環境の保全
7. 森林・農地などの無秩序な開発・宅地化の抑制
8. 優良農地の計画的な保全と農業生産基盤の整備促進
9. 遊休農地、耕作放棄地などの有効活用
10. 甲西道路や国道 52 号などの幹線道路沿道の良好なまちなみ誘導
11. 定住促進のための計画的な宅地開発の整備・誘導
12. 土地利用計画の策定、良好な土地の使い方のためのルールづくり（土地利用ガイドラインなど）
13. その他
14. 不明

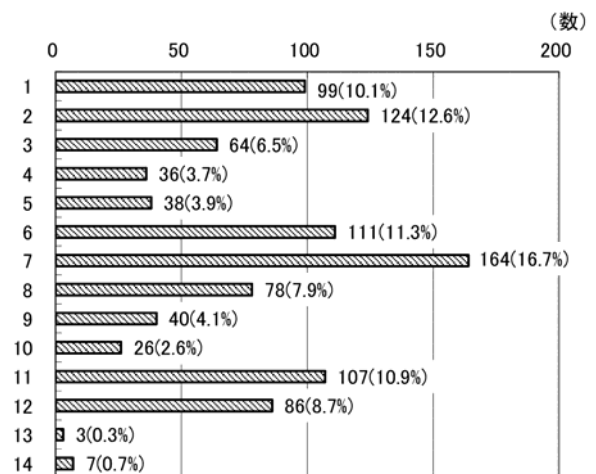
◆具体的な施策の方向性（②土地の使い方）



③ 道路・交通対策

1. 中部横断自動車道の整備促進と周辺アクセス道路整備の推進
2. 町の玄関口、窓口となる「道の駅」の整備促進
3. 甲西道路など甲府圏域や周辺都市を結ぶ広域幹線道路網の機能強化
4. 市街地の骨格となる都市計画道路の整備推進
5. 各集落や山間地域の生活道路の確保と地域間交通ネットワークの確立
6. 身近な生活道路の改善整備や狭い道路の拡幅整備
7. コミュニティバスやデマンド交通などの公共交通機関の充実と JR 身延線へのアクセス強化
8. 誰もが安心・快適に歩ける歩道の整備や歩行者優先道路の整備
9. 道路のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化など、人にやさしい道づくりの推進
10. 登山道・ハイキングルート of 充実やふるさとの散歩道づくりの推進
11. 通学路の交通安全対策の充実、信号機や横断歩道など交通安全施設の改善・整備
12. 街路灯・防犯灯の充実
13. その他
14. 不明

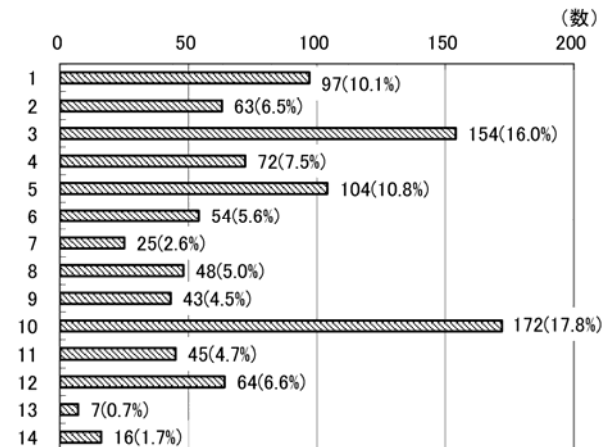
◆具体的な施策の方向性（③道路・交通対策）



④ 観光による振興

1. 山岳、渓谷などの自然環境や富士山の眺望など、景勝地周辺の保全と活用
2. あおやぎ宿活性館、観光遊船などの富士川舟運や旧街道の歴史文化を活用した町独自の観光振興
3. 道の駅・農産物直売所など、新たな観光集客施設の整備促進
4. 交流施設や体験施設、温泉などの既存の観光スポットの魅力の向上
5. 朝市の促進、郷土料理や特産品開発、硯製造などの伝統的地場産業やゆずなどの特色ある農産物を活用した産業観光の振興
6. 町内三筋（平林・穂積・五開）と観光拠点を結ぶ観光周遊ルートの整備充実
7. 資源を巡る散策路やフットパス、ハイキングコースなどの整備充実
8. 登山、釣り、キャンプなどスポーツ・レクリエーション施設の整備充実
9. グリーンツーリズム、自然・田舎体験など都市との交流機会の充実
10. 大法師さくら祭りやふじかわ夏まつりなど、郷土の祭り・イベントの充実とPRの推進
11. 案内標示の充実、来訪者を迎える体制づくり（観光マップ、ボランティアガイドの育成など）
12. インターネットやテレビ、雑誌、フィルムコミッション^{*2}などを活用した新たな宣伝活動の充実
13. その他
14. 不明

◆具体的な施策の方向性（④観光による振興）

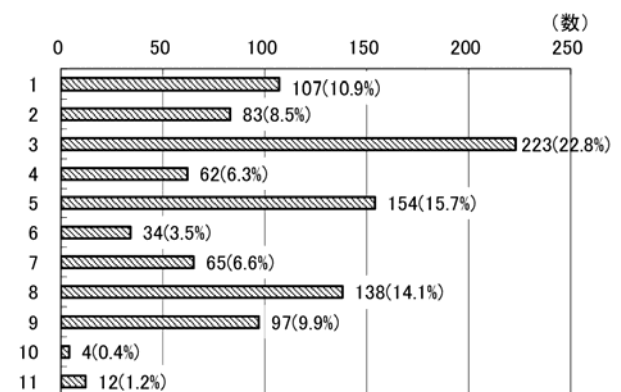


⑤ 豊かな自然や水と緑

1. 県立南アルプス巨摩自然公園などの広大な森林や渓谷など、優れた自然環境の保全
2. 水源涵養にも寄与する森林資源の保全と住民参加による森づくり活動の促進
3. 富士川や戸川、大柳川渓谷、妙連滝や不動滝などの美しい水辺環境の保全
4. 里山や雑木林、屋敷林、古木・大木など、身近なみどりの保全
5. ホタルや水辺の生態系など、貴重な動植物の生息環境の保全
6. 公共施設や民有地などの緑化の推進
7. 街路樹や植樹などによる道路や河川空間などの緑化の推進
8. 桜やあじさい、菜の花など、地域にふさわしい四季折々の花や樹林を増やす
9. サル、イノシシ、シカなどの鳥獣害対策の推進
10. その他
11. 不明

◆具体的な施策の方向性

（⑤豊かな自然や水と緑）

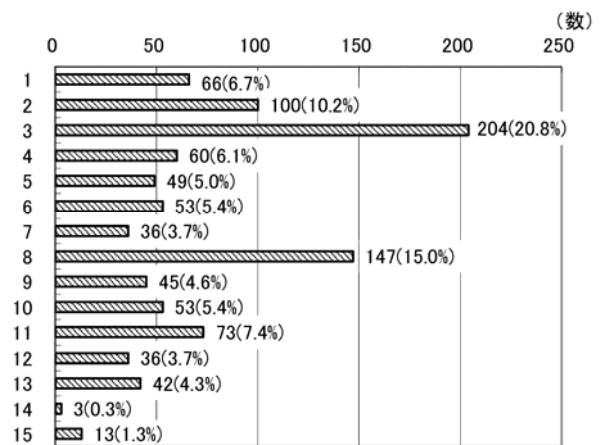


⑥ ふるさとの景観づくり

1. 楡形山や源氏山をいただく県立南アルプス巨摩自然公園の広大な森林景観の保全
2. 富士川などの河川、大柳川渓谷や妙連の滝、八雲池などの水辺景観の保全
3. ダイヤモンド富士や山々の眺望、山地や林道からの甲府盆地の眺望など、良好な眺望景観の保全と活用
4. 富士川舟運の河岸、駿信・駿州往還の要衝地などの往時を偲ばせるまちなみ景観づくり
5. 太鼓堂や鰐沢河岸跡・禹の瀬などの由緒ある史跡・文化財の保全と活用
6. 地域の社寺、大木・古木、祠、道祖神など、身近な景観資源の保全と活用
7. 平林の棚田などのふるさとの美しい農村風景や里山景観の保全と活用
8. 増穂 IC 周辺や既存の観光拠点周辺など、地域のシンボルとなる景観づくりの推進
9. 山間集落や市街地周辺などの各地域にふさわしい景観まちなみ誘導
10. 天神社祭典など地域景観を特徴づける祭り、行事・伝統文化の継承
11. 景勝地や「富士川町八景」の選定など、景観形成活動の推進とPRの充実
12. まちなみ景観に関する地域のルールづくりなど、住民参加による景観づくりの促進
13. 自然環境や歴史文化的な景観を守り、活かす「景観条例」や「景観計画」の策定
14. その他
15. 不明

◆具体的な施策の方向性

(⑥ふるさとの景観づくり)

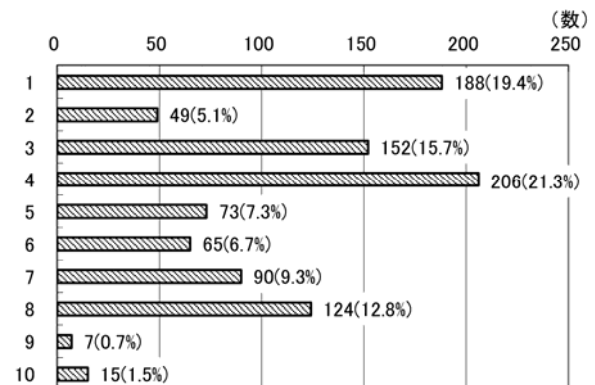


⑦ 公共施設や公園などの生活基盤

1. 大法師公園や殿原スポーツ公園など、多くの人々が利用する公園・緑地の整備充実
2. 町民や来訪者の新たな交流空間となる河岸跡公園の整備推進
3. 子どもの遊び場など、身近な親しみある公園やポケットパーク等の整備
4. 文化施設や図書館、スポーツ施設などの生涯学習や健康増進のための施設の整備充実
5. 公民館など地域コミュニティの核となる公共施設の整備充実
6. 上・下水道の整備、下水道処理区域外での合併処理浄化槽の設置促進
7. 町有地の有効活用など、定住促進のための質の高い宅地整備、住環境整備の推進
8. 老朽化した公営住宅の改善、若い世帯や高齢者等への計画的な公営住宅の整備推進
9. その他
10. 不明

◆具体的な施策の方向性

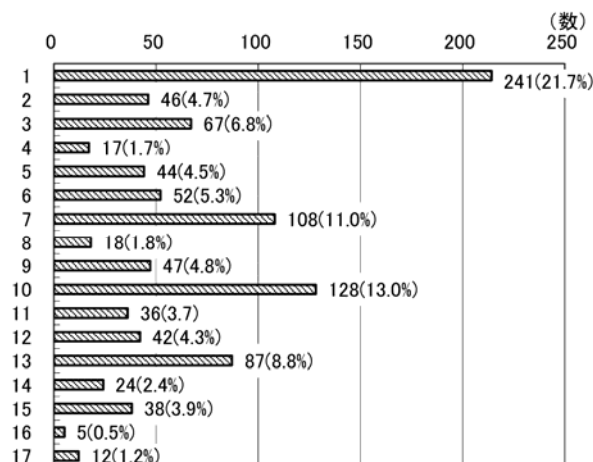
(⑦公共施設や公園などの生活基盤)



⑧ 防災・防犯

1. 地震や水害などの自然災害対策の強化
2. 急傾斜地の崩壊や地滑りなどに対する治山対策の強化
3. 豪雨時の内水氾濫対策や河川改修の整備促進など、治水機能の強化
4. 河川防災ステーション・水防センター整備による水防強化の推進
5. 避難路となる道路網整備、物資運搬や救援時の高速道路の活用、橋梁の点検・整備の充実
6. 老朽・密集した住宅地の環境改善（狭い道路、行き止まり道路の解消、建物の不燃化など）
7. 災害時の避難場所や備蓄倉庫の整備
8. 防火水槽、消火栓などの消防水利施設の充実
9. 家屋耐震化の普及と公共公益施設の耐震化の推進
10. 地域医療施設と連携した救急医療体制の整備
11. 緊急ヘリコプター発着所整備など、災害時孤立集落対策の推進
12. 防犯灯の設置やスクールガードなどの防犯パトロールの推進
13. 避難・救助・緊急通信などの正確で迅速な情報伝達システムの充実
14. 防災訓練の充実など、市民の防災・防犯意識の高揚と啓発
15. 消防団など自主防災組織・防犯組織やボランティアの育成と支援
16. その他
17. 不明

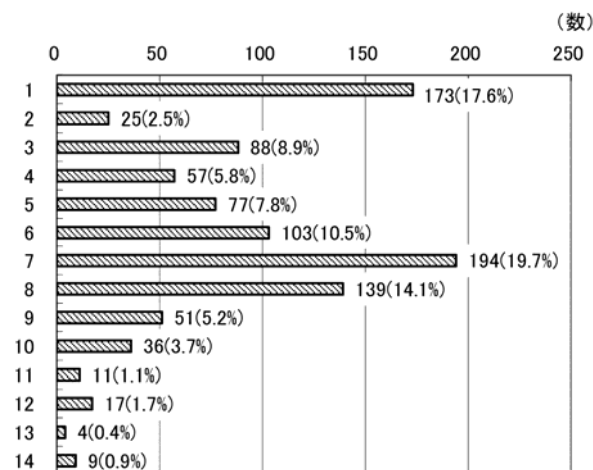
◆具体的な施策の方向性（⑧防災・防犯）



⑨ 福祉のまちづくり

1. 老人ホームや介護支援センターなどの福祉施設の充実
2. バス停や町民利用施設など、施設のバリアフリー整備、ユニバーサルデザインの導入促進
3. 訪問看護など、介護医療サービスの充実
4. 高齢者に対応した公営住宅の整備や住宅の新築・リフォームへの支援充実
5. 福祉バス・福祉タクシーなど、交通手段の充実
6. 高齢者や障害者の生きがいづくり、働く場の確保などの支援体制づくり
7. 近隣の医療機関との連携による救急医療や地域が連携した地域医療体制の充実
8. 子どもを産み、育てやすい環境づくりなど、少子化対策の充実
9. 保育所や地域子育て支援センターの設置など、子育て支援施設の整備・充実
10. 廃校の活用、余裕教室や空き施設を活用した福祉・交流施設の充実
11. 青少年の健全育成に対する相談窓口や体制づくり
12. 福祉ボランティアの育成と活動への支援充実
13. その他
14. 不明

◆具体的な施策の方向性（⑨福祉）

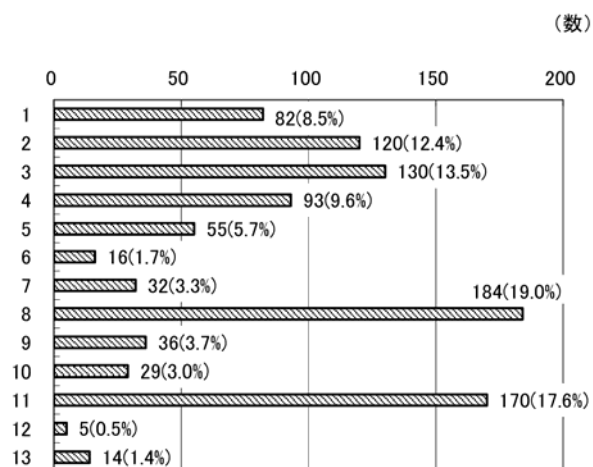


⑩ 環境に配慮したまちづくり

1. リサイクル促進や二酸化炭素の排出抑制など、地域からの地球環境対策の推進
2. ごみの減量や資源ごみの分別回収など、ごみの再資源化の推進
3. リサイクルステーションの設置充実による効率的なごみ処理体制の推進
4. ごみの不法投棄の未然防止、監視活動の強化
5. 悪臭、騒音、振動、水質汚濁など、公害防止対策の推進
6. 自家用車利用の抑制など、環境に配慮した交通環境対策の促進
7. 自然型工法^{*3}の導入など、環境に配慮した施設整備の促進
8. 風力・太陽光発電などの省エネルギー対策、バイオマス^{*4}などの自然エネルギーの導入
9. 有機農業や減農薬農業など環境保全型農業の推進
10. NPOやボランティアによる環境保全活動、まちの美化・清掃活動への支援充実
11. 住民一人一人の地域環境に対する意識の向上、マナーやルールの遵守
12. その他
13. 不明

◆具体的な施策の方向性

(⑩環境に配慮したまちづくり)

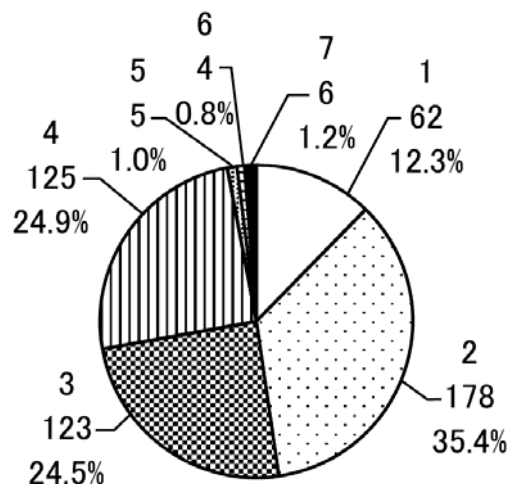


◆参加のまちづくりについて

設問4：まちづくりへの参加

1. 積極的に参加したい
2. 内容によっては参加する
3. 地域の集まりやまちなどで求められれば参加する
4. 参加はできないが何らかの協力はしたい
5. 参加も協力もしたいと思わない
6. その他
7. 不明

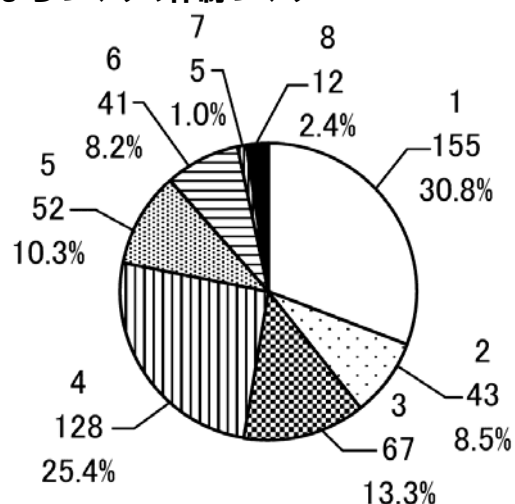
◆まちづくりへの参加



設問５：まちづくりの体制づくり

1. まちの広報やお知らせなどで、まちづくりに関する情報公開やPRを充実する
2. まちづくりに関する意見や相談を聞く窓口を充実する
3. まちづくりの説明会や勉強会を開くなどの機会を充実する
4. アンケート結果などの住民意向を公開し、充分反映する
5. 町民参加によるまちづくりを支える条例や制度などの仕組みを整える
6. 地域の自主的なまちづくり活動に対する助成や専門家派遣などの積極的な支援を行う
7. その他
8. 不明

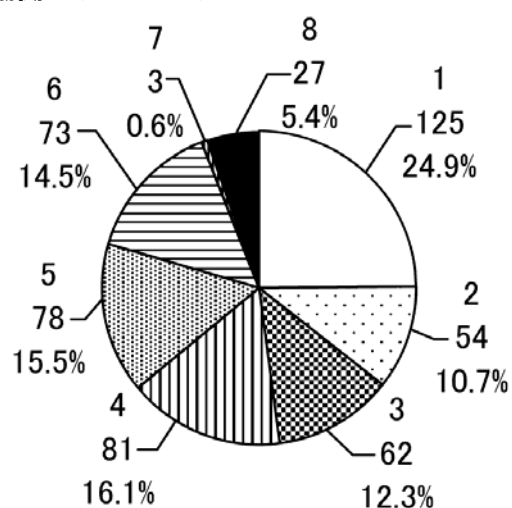
◆まちづくりの体制づくり



設問６：協働のまちづくり

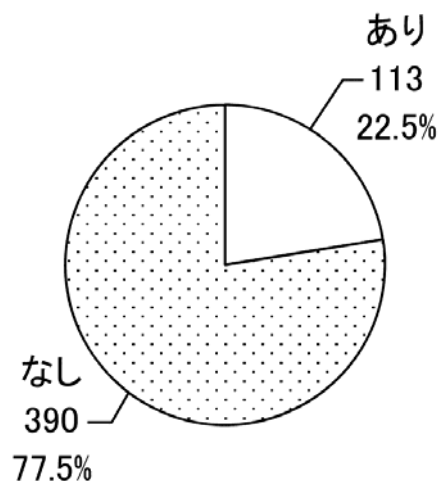
1. 「まちづくり会議」など行政や住民等が意見を交換する場をつくる
2. 協議会など地域・地区単位のまちづくり組織を充実する
3. 多様なまちづくり活動を助言・支援する「まちづくりセンター」的な組織をつくる
4. 地域の自発的なまちづくり活動を支援・助成する体制をつくる
5. 町民と行政等が協力して町独自の条例や要綱などのルールや制度をつくる
6. まちづくりのリーダーとなる人材を育てる仕組みをつくる
7. その他

◆協働のまちづくり



◆自由記入

◆自由記入



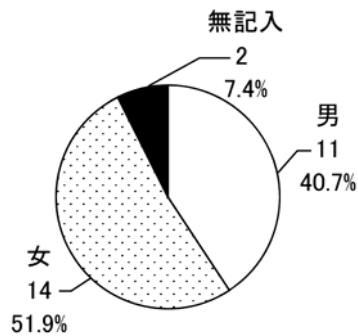
2) 平林・穂積地域

回答数：27 票

◆属 性

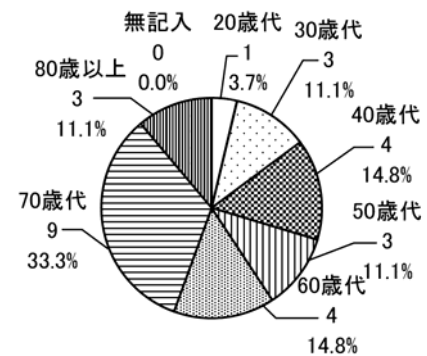
●性 別

性別



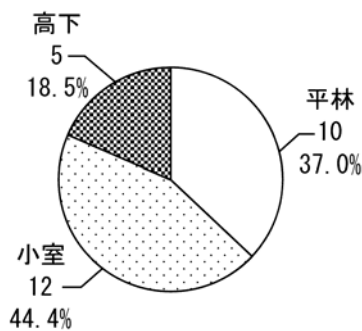
●年 齢

年齢



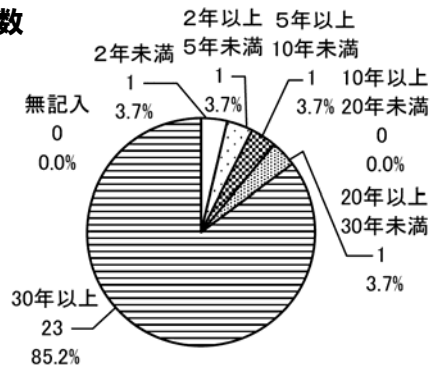
●住まいの地区

地区



●居住年数

居住年数

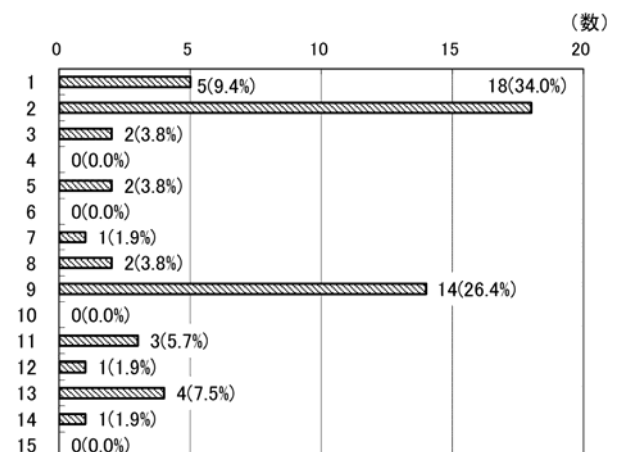


◆富士川町らしさ・まちのイメージ

設問 1：まちの現在のイメージ

1. 櫛形山や源氏山などの山岳や森林、美しい渓谷や滝、富士川の清流など、豊かな自然環境があるまち
2. ダイヤモンド富士などの眺望や市街地から望む山々の風景など、美しい風景に恵まれたまち
3. 富士川舟運の拠点として繁栄した歴史文化を継承するまち
4. 太鼓堂、蓮華寺、明王寺等の史跡・文化財など、由緒ある歴史資源を守るまち
5. 平林の棚田、落ち着いた趣のある集落や里山など、故郷のなつかしい風景
6. 交流センター塩の華、あおやぎ宿活性館・追分館など、観光や交流が盛んなまち
7. 天神社祭典やふじかわ夏まつりなど、祭事・行事・イベントが盛んなまち
8. まほらの湯やかじかの湯などの名湯の憩いと安らぎがあるまち
9. 大法師公園のさくら、妙法寺のあじさい、林道沿いの紅葉など、四季折々の彩りがあるまち
10. 登山やハイキング、キャンプ場など身近なレクリエーションや自然体験の盛んなまち
11. 中部横断自動車道の整備など甲府盆地南西部の交通の要衝地として発展していくまち
12. 交通や日常の買い物などの利便性が整った暮らしやすいまち
13. 昔ながらの風習や地域の人々のふれあいが深いまち
14. その他
15. 不明

◆まちの現在のイメージ

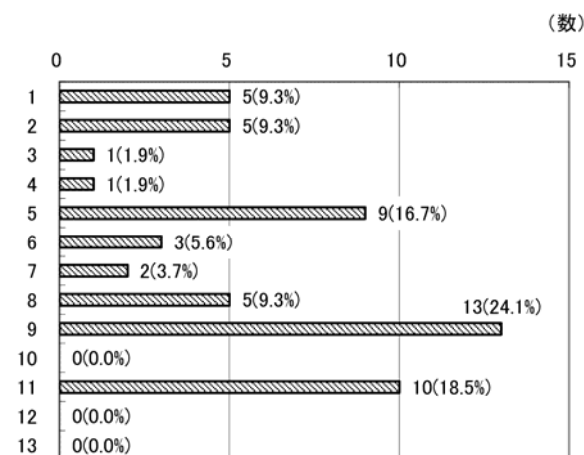


◆今後のまちづくりについて

設問2：まちづくりで重視する視点（施策）

1. 高速交通網整備やインターチェンジ周辺開発など、まちの発展に力を注ぎ活力を高める
2. 農林業、商工業、観光振興など産業振興により定住化を促進し、まちの活力を高める
3. 森林や農地などの無秩序な開発を抑制し、計画的な調和のとれた土地の使い方を進めていく
4. 幹線道路の整備や身近な生活道路の改善・整備、公共交通の充実など、交通環境の利便性を高める
5. 豊かな森林や河川・溪谷などの水辺、恵まれた自然環境を守り、活用する
6. 舟運などの歴史文化的景観、自然・里山景観、雄大な眺望など、ふるさとの美しい風景を守り、育てる
7. 公園や上・下水道、公共施設整備など、身近な生活基盤を充実する
8. 水害や地滑りなど、災害に強い安全なまちづくりを推進する
9. 子ども達や高齢者など、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する
10. 循環型社会*1の形成に向けた取り組みなど、環境に配慮したまちづくりを推進する
11. 中山間地域など各地域の特性を踏まえ、バランスのとれた地域格差のないまちづくりを推進する
12. その他
13. 不明

◆まちづくりで重視する視点（施策）



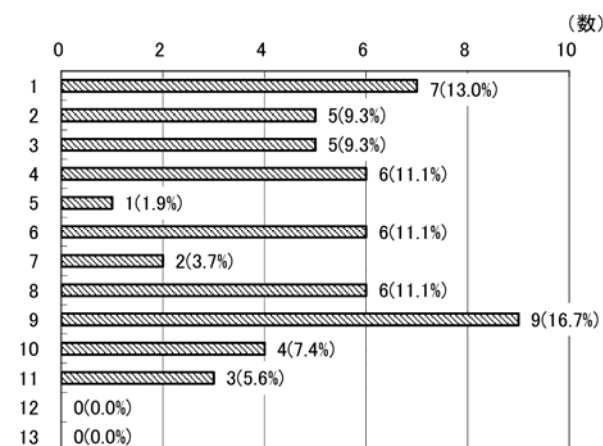
設問3：具体的な施策の方向性

① まちの発展・活性化

1. 定住促進や雇用機会確保のための工業用地整備、優良企業の誘致促進
2. 中部横断自動車道やリニア中央新幹線中間駅への広域アクセス道路の強化
3. 増穂 IC 周辺整備や東部地域開発など、まちの中心となる市街地の活性化
4. 自然環境や歴史文化など、特色ある地域資源を活用した観光振興
5. 周辺市町村や地域間を結ぶ幹線道路網整備など、交通基盤の整備充実
6. 空き店舗の活用、買い物弱者への対応など、既存商店街への支援充実による活性化
7. スーパーや複合商業施設など、大規模店舗の誘致促進
8. 観光農業の充実や生産基盤の充実、後継者・担い手育成などによる農林業の活性化
9. 朝市などの地産地消の促進と、ゆず、ラ・フランスなど特産品による地域ブランドづくり
10. 既存の伝統産業や中小企業への支援充実による地域活性化の推進
11. 地域情報を内外へ発信する情報通信（光ケーブルなど）環境の整備
12. その他
13. 不明

◆具体的な施策の方向性

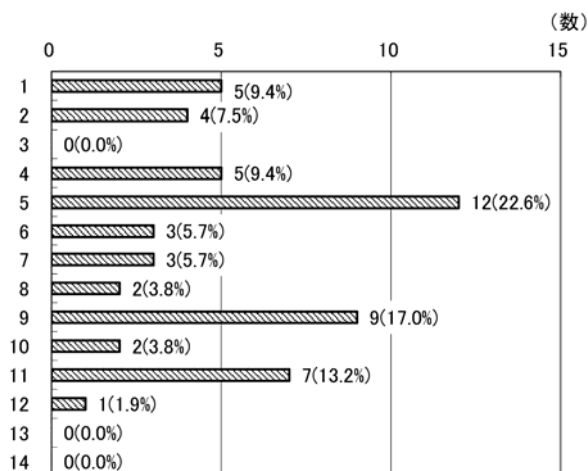
（①まちの発展・活性化）



② 調和のとれた土地の使い方

1. 東部地域開発の推進など、町の顔となる中心市街地の都市基盤整備の充実
2. 中部横断自動車道増穂 IC 周辺の計画的な土地利用の推進
3. 水辺プラザ、スポーツ施設整備など、水辺空間の有効活用
4. 工業地や商業地など、地域の実情に即した土地の有効利用の促進
5. 住宅地や集落地の住環境の向上、空き家・空き地対策などの住環境の改善
6. 水辺環境や森林などの豊かな自然環境の保全
7. 森林・農地などの無秩序な開発・宅地化の抑制
8. 優良農地の計画的な保全と農業生産基盤の整備促進
9. 遊休農地、耕作放棄地などの有効活用
10. 甲西道路や国道 52 号などの幹線道路沿道の良好なまちなみ誘導
11. 定住促進のための計画的な宅地開発の整備・誘導
12. 土地利用計画の策定、良好な土地の使い方のためのルールづくり（土地利用ガイドラインなど）
13. その他
14. 不明

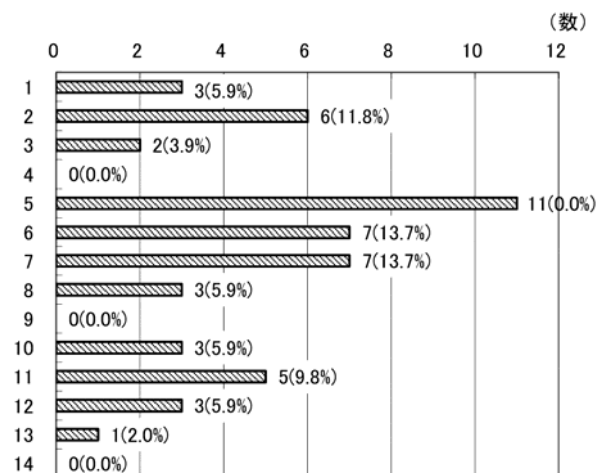
◆具体的な施策の方向性（②土地の使い方）



③ 道路・交通対策

1. 中部横断自動車道の整備促進と周辺アクセス道路整備の推進
2. 町の玄関口、窓口となる「道の駅」の整備促進
3. 甲西道路など甲府圏域や周辺都市を結ぶ広域幹線道路網の機能強化
4. 市街地の骨格となる都市計画道路の整備推進
5. 各集落や山間地域の生活道路の確保と地域間交通ネットワークの確立
6. 身近な生活道路の改善整備や狭い道路の拡幅整備
7. コミュニティバスやデマンド交通などの公共交通機関の充実と JR 身延線へのアクセス強化
8. 誰もが安心・快適に歩ける歩道の整備や歩行者優先道路の整備
9. 道路のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化など、人にやさしい道づくりの推進
10. 登山道・ハイキングルート等の充実やふるさとの散歩道づくりの推進
11. 通学路の交通安全対策の充実、信号機や横断歩道など交通安全施設の改善・整備
12. 街路灯・防犯灯の充実
13. その他
14. 不明

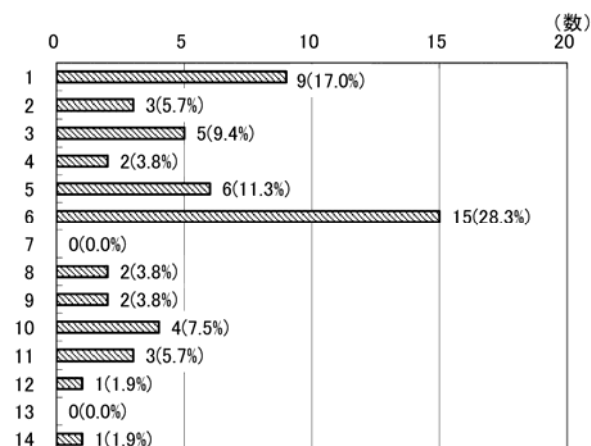
◆具体的な施策の方向性（③道路・交通対策）



④ 観光による振興

1. 山岳、渓谷などの自然環境や富士山の眺望など、景勝地周辺の保全と活用
2. あおやぎ宿活性館、観光遊船などの富士川舟運や旧街道の歴史文化を活用した町独自の観光振興
3. 道の駅・農産物直売所など、新たな観光集客施設の整備促進
4. 交流施設や体験施設、温泉などの既存の観光スポットの魅力の向上
5. 朝市の促進、郷土料理や特産品開発、硯製造などの伝統的地場産業やゆずなどの特色ある農産物を活用した産業観光の振興
6. 町内三筋（平林・穂積・五開）と観光拠点を結ぶ観光周遊ルートの整備充実
7. 資源を巡る散策路やフットパス、ハイキングコースなどの整備充実
8. 登山、釣り、キャンプなどスポーツ・レクリエーション施設の整備充実
9. グリーンツーリズム、自然・田舎体験など都市との交流機会の充実
10. 大法師さくら祭りやふじかわ夏まつりなど、郷土の祭り・イベントの充実とPRの推進
11. 案内標示の充実、来訪者を迎える体制づくり（観光マップ、ボランティアガイドの育成など）
12. インターネットやテレビ、雑誌、フィルムコミッション^{*2}などを活用した新たな宣伝活動の充実
13. その他
14. 不明

◆具体的な施策の方向性（④観光による振興）

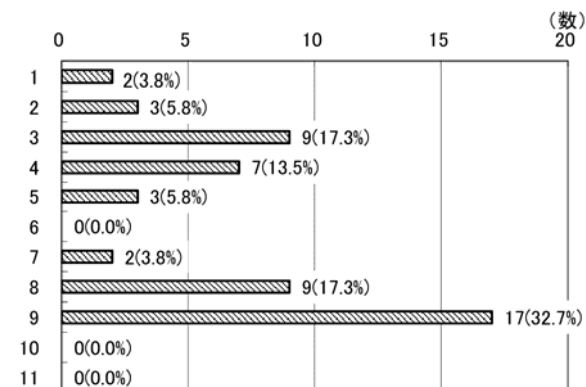


⑤ 豊かな自然や水と緑

1. 県立南アルプス巨摩自然公園などの広大な森林や渓谷など、優れた自然環境の保全
2. 水源涵養にも寄与する森林資源の保全と住民参加による森づくり活動の促進
3. 富士川や戸川、大柳川渓谷、妙連滝や不動滝などの美しい水辺環境の保全
4. 里山や雑木林、屋敷林、古木・大木など、身近なみどりの保全
5. ホタルや水辺の生態系など、貴重な動植物の生息環境の保全
6. 公共施設や民有地などの緑化の推進
7. 街路樹や植樹などによる道路や河川空間などの緑化の推進
8. 桜やあじさい、菜の花など、地域にふさわしい四季折々の花や樹林を増やす
9. サル、イノシシ、シカなどの鳥獣害対策の推進
10. その他
11. 不明

◆具体的な施策の方向性

（⑤豊かな自然や水と緑）

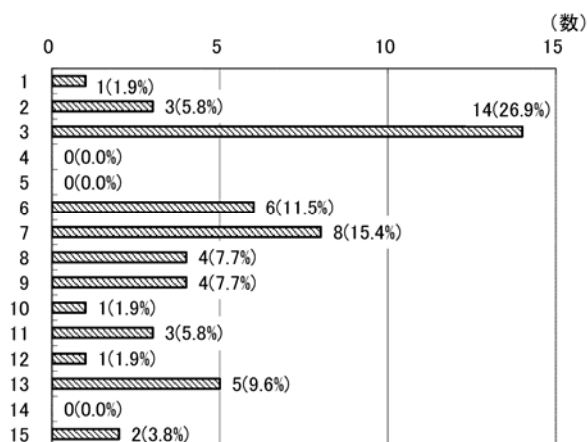


⑥ ふるさとの景観づくり

1. 楡形山や源氏山をいただく県立南アルプス巨摩自然公園の広大な森林景観の保全
2. 富士川などの河川、大柳川溪谷や妙連の滝、八雲池などの水辺景観の保全
3. ダイヤモンド富士や山々の眺望、山地や林道からの甲府盆地の眺望など、良好な眺望景観の保全と活用
4. 富士川舟運の河岸、駿信・駿州往還の要衝地などの往時を偲ばせるまちなみ景観づくり
5. 太鼓堂や鵜沢河岸跡・禹の瀬などの由緒ある史跡・文化財の保全と活用
6. 地域の社寺、大木・古木、祠、道祖神など、身近な景観資源の保全と活用
7. 平林の棚田などのふるさとの美しい農村風景や里山景観の保全と活用
8. 増穂 IC 周辺や既存の観光拠点周辺など、地域のシンボルとなる景観づくりの推進
9. 山間集落や市街地周辺などの各地域にふさわしい景観まちなみ誘導
10. 天神社祭典など地域景観を特徴づける祭り、行事・伝統文化の継承
11. 景勝地や「富士川町八景」の選定など、景観形成活動の推進とPRの充実
12. まちなみ景観に関する地域のルールづくりなど、住民参加による景観づくりの促進
13. 自然環境や歴史文化的な景観を守り、活かす「景観条例」や「景観計画」の策定
14. その他
15. 不明

◆具体的な施策の方向性

(⑥ふるさとの景観づくり)

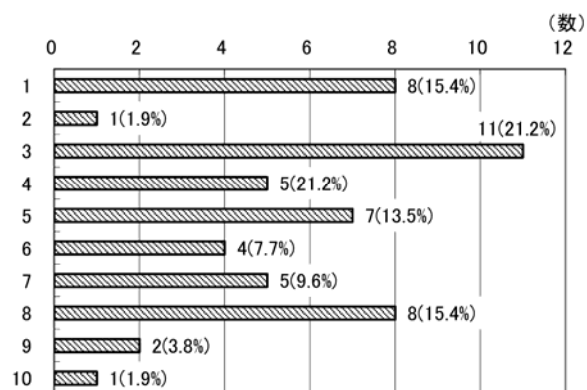


⑦ 公共施設や公園などの生活基盤

1. 大法師公園や殿原スポーツ公園など、多くの人々が利用する公園・緑地の整備充実
2. 町民や来訪者の新たな交流空間となる河岸跡公園の整備推進
3. 子どもの遊び場など、身近な親しみある公園やポケットパーク等の整備
4. 文化施設や図書館、スポーツ施設などの生涯学習や健康増進のための施設の整備充実
5. 公民館など地域コミュニティの核となる公共施設の整備充実
6. 上・下水道の整備、下水道処理区域外での合併処理浄化槽の設置促進
7. 町有地の有効活用など、定住促進のための質の高い宅地整備、住環境整備の推進
8. 老朽化した公営住宅の改善、若い世帯や高齢者等への計画的な公営住宅の整備推進
9. その他
10. 不明

◆具体的な施策の方向性

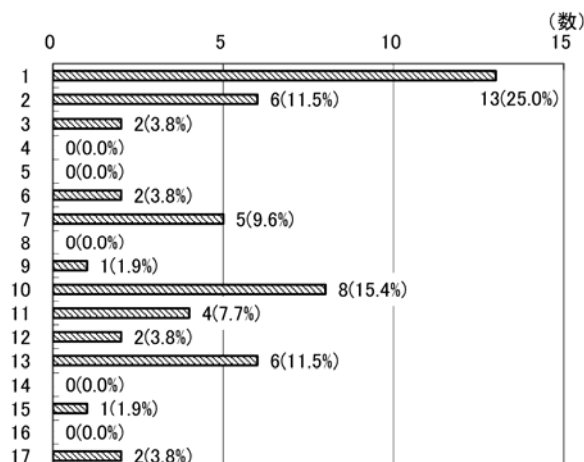
(⑦公共施設や公園などの生活基盤)



⑧ 防災・防犯

1. 地震や水害などの自然災害対策の強化
2. 急傾斜地の崩壊や地滑りなどに対する治山対策の強化
3. 豪雨時の内水氾濫対策や河川改修の整備促進など、治水機能の強化
4. 河川防災ステーション・水防センター整備による水防強化の推進
5. 避難路となる道路網整備、物資運搬や救援時の高速道路の活用、橋梁の点検・整備の充実
6. 老朽・密集した住宅地の環境改善（狭い道路、行き止まり道路の解消、建物の不燃化など）
7. 災害時の避難場所や備蓄倉庫の整備
8. 防火水槽、消火栓などの消防水利施設の充実
9. 家屋耐震化の普及と公共公益施設の耐震化の推進
10. 地域医療施設と連携した救急医療体制の整備
11. 緊急ヘリコプター発着所整備など、災害時孤立集落対策の推進
12. 防犯灯の設置やスクールガードなどの防犯パトロールの推進
13. 避難・救助・緊急通信などの正確で迅速な情報伝達システムの充実
14. 防災訓練の充実など、町民の防災・防犯意識の高揚と啓発
15. 消防団など自主防災組織・防犯組織やボランティアの育成と支援
16. その他
17. 不明

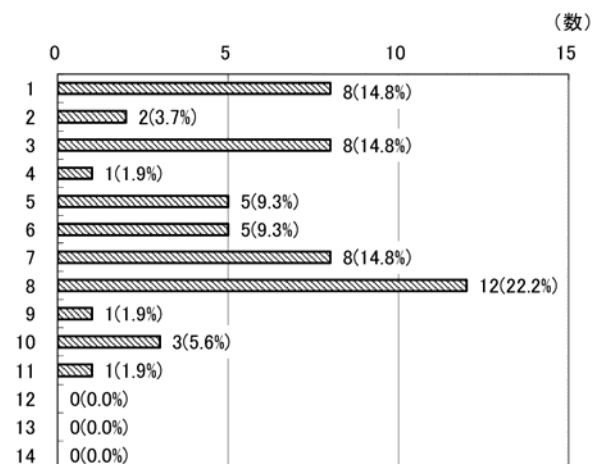
◆具体的な施策の方向性（⑧防災・防犯）



⑨ 福祉のまちづくり

1. 老人ホームや介護支援センターなどの福祉施設の充実
2. バス停や町民利用施設など、施設のバリアフリー整備、ユニバーサルデザインの導入促進
3. 訪問看護など、介護医療サービスの充実
4. 高齢者に対応した公営住宅の整備や住宅の新築・リフォームへの支援充実
5. 福祉バス・福祉タクシーなど、交通手段の充実
6. 高齢者や障害者の生きがいづくり、働く場の確保などの支援体制づくり
7. 近隣の医療機関との連携による救急医療や地域が連携した地域医療体制の充実
8. 子どもを産み、育てやすい環境づくりなど、少子化対策の充実
9. 保育所や地域子育て支援センターの設置など、子育て支援施設の整備・充実
10. 廃校の活用、余裕教室や空き施設を活用した福祉・交流施設の充実
11. 青少年の健全育成に対する相談窓口や体制づくり
12. 福祉ボランティアの育成と活動への支援充実
13. その他
14. 不明

◆具体的な施策の方向性（⑨福祉）

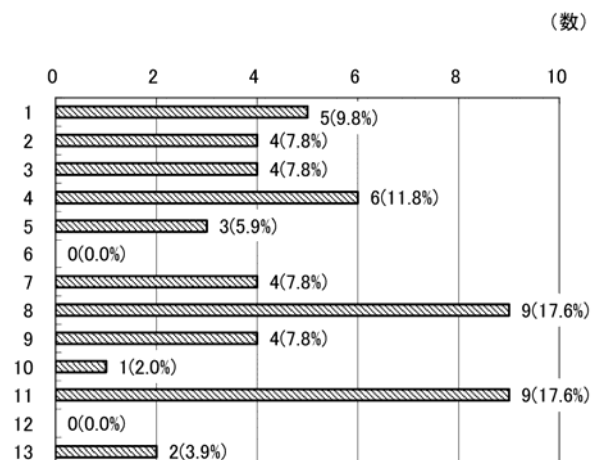


⑩ 環境に配慮したまちづくり

1. リサイクル促進や二酸化炭素の排出抑制など、地域からの地球環境対策の推進
2. ごみの減量や資源ごみの分別回収など、ごみの再資源化の推進
3. リサイクルステーションの設置充実による効率的なごみ処理体制の推進
4. ごみの不法投棄の未然防止、監視活動の強化
5. 悪臭、騒音、振動、水質汚濁など、公害防止対策の推進
6. 自家用車利用の抑制など、環境に配慮した交通環境対策の推進
7. 自然型工法^{*3}の導入など、環境に配慮した施設整備の促進
8. 風力・太陽光発電などの省エネルギー対策、バイオマス^{*4}などの自然エネルギーの導入
9. 有機農業や減農薬農業など環境保全型農業の推進
10. NPOやボランティアによる環境保全活動、まちの美化・清掃活動への支援充実
11. 住民一人一人の地域環境に対する意識の向上、マナーやルールの遵守
12. その他
13. 不明

◆具体的な施策の方向性

(⑩環境に配慮したまちづくり)

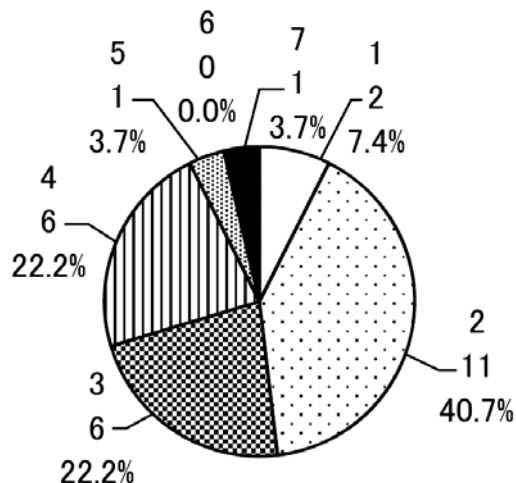


◆参加のまちづくりについて

設問4：まちづくりへの参加

1. 積極的に参加したい
2. 内容によっては参加する
3. 地域の集まりやまちなどで求められれば参加する
4. 参加はできないが何らかの協力はしたい
5. 参加も協力もしたいと思わない
6. その他
7. 不明

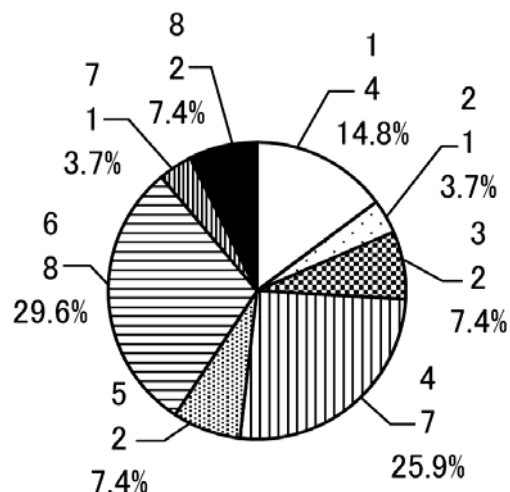
◆まちづくりへの参加



設問５：まちづくりの体制づくり

1. まちの広報やお知らせなどで、まちづくりに関する情報公開やPRを充実する
2. まちづくりに関する意見や相談を聞く窓口を充実する
3. まちづくりの説明会や勉強会を開くなどの機会を充実する
4. アンケート結果などの住民意向を公開し、充分反映する
5. 町民参加によるまちづくりを支える条例や制度などの仕組みを整える
6. 地域の自主的なまちづくり活動に対する助成や専門家派遣などの積極的な支援を行う
7. その他
8. 不明

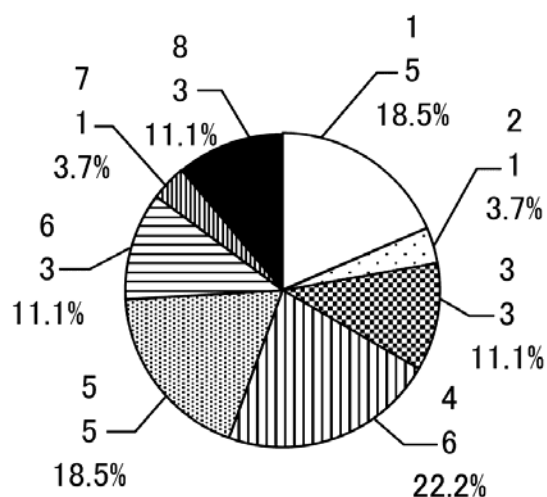
◆まちづくりの体制づくり



設問６：協働のまちづくり

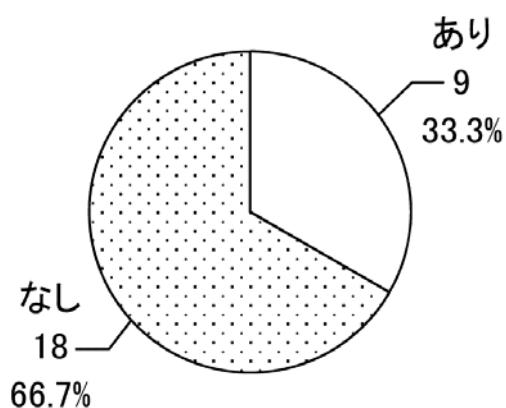
1. 「まちづくり会議」など行政や住民等が意見を交換する場をつくる
2. 協議会など地域・地区単位のまちづくり組織を充実する
3. 多様なまちづくり活動を助言・支援する「まちづくりセンター」的な組織をつくる
4. 地域の自発的なまちづくり活動を支援・助成する体制をつくる
5. 町民と行政等が協力して町独自の条例や要綱などのルールや制度をつくる
6. まちづくりのリーダーとなる人材を育てる仕組みをつくる
7. その他

◆協働のまちづくり



◆自由記入

◆自由記入



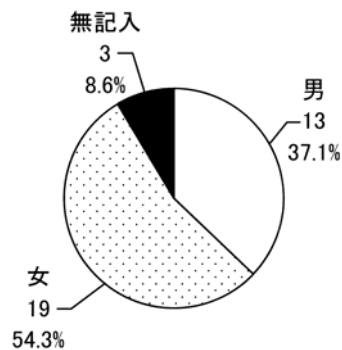
3) 五開・中部地域

回答数：35 票

◆属 性

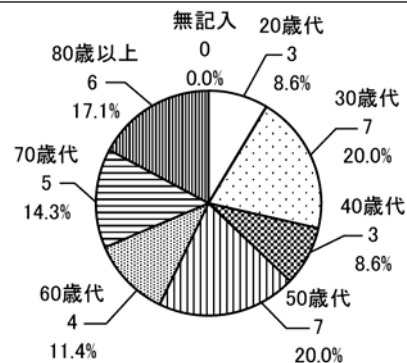
●性 別

性別



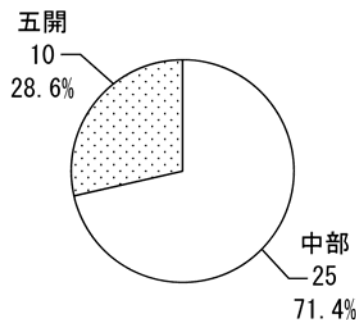
●年 齢

年齢



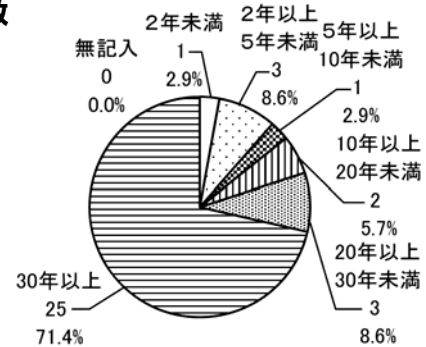
●住まいの地区

地区



●居住年数

居住年数

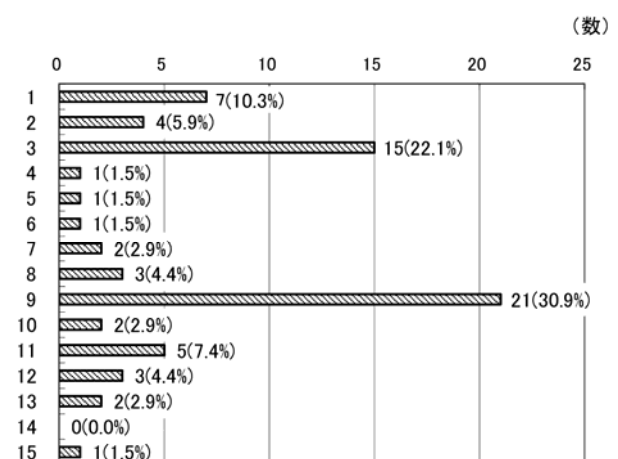


◆富士川町らしさ・まちのイメージ

設問1：まちの現在のイメージ

1. 櫛形山や源氏山などの山岳や森林、美しい渓谷や滝、富士川の清流など、豊かな自然環境があるまち
2. ダイヤモンド富士などの眺望や市街地から望む山々の風景など、美しい風景に恵まれたまち
3. 富士川舟運の拠点として繁栄した歴史文化を継承するまち
4. 太鼓堂、蓮華寺、明王寺等の史跡・文化財など、由緒ある歴史資源を守るまち
5. 平林の棚田、落ち着いた趣のある集落や里山など、故郷のなつかしい風景
6. 交流センター塩の華、あおやぎ宿活性館・追分館など、観光や交流が盛んなまち
7. 天神社祭典やふじかわ夏まつりなど、祭事・行事・イベントが盛んなまち
8. まほらの湯やかじかの湯などの名湯の憩いと安らぎがあるまち
9. 大法師公園のさくら、妙法寺のあじさい、林道沿いの紅葉など、四季折々の彩りがあるまち
10. 登山やハイキング、キャンプ場など身近なレクリエーションや自然体験の盛んなまち
11. 中部横断自動車道の整備など甲府盆地南西部の交通の要衝地として発展していくまち
12. 交通や日常の買い物などの利便性が整った暮らしやすいまち
13. 昔ながらの風習や地域の人々のふれあいが深いまち
14. その他
15. 不明

◆まちの現在のイメージ

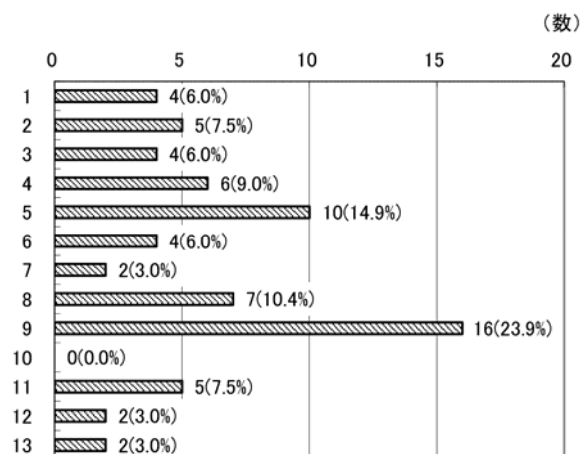


◆今後のまちづくりについて

設問2：まちづくりで重視する視点（施策）

1. 高速交通網整備やインターチェンジ周辺開発など、まちの発展に力を注ぎ活力を高める
2. 農林業、商工業、観光振興など産業振興により定住化を促進し、まちの活力を高める
3. 森林や農地などの無秩序な開発を抑制し、計画的な調和のとれた土地の使い方を進めていく
4. 幹線道路の整備や身近な生活道路の改善・整備、公共交通の充実など、交通環境の利便性を高める
5. 豊かな森林や河川・溪谷などの水辺、恵まれた自然環境を守り、活用する
6. 舟運などの歴史文化的景観、自然・里山景観、雄大な眺望など、ふるさとの美しい風景を守り、育てる
7. 公園や上・下水道、公共施設整備など、身近な生活基盤を充実する
8. 水害や地滑りなど、災害に強い安全なまちづくりを推進する
9. 子ども達や高齢者など、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する
10. 循環型社会^{*1}の形成に向けた取り組みなど、環境に配慮したまちづくりを推進する
11. 中山間地域など各地域の特性を踏まえ、バランスのとれた地域格差のないまちづくりを推進する
12. その他
13. 不明

◆まちづくりで重視する視点（施策）



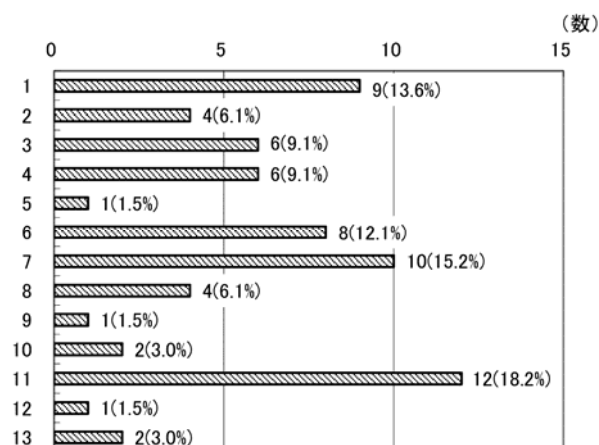
設問3：具体的な施策の方向性

① まちの発展・活性化

1. 定住促進や雇用機会確保のための工業用地整備、優良企業の誘致促進
2. 中部横断自動車道やリニア中央新幹線中間駅への広域アクセス道路の強化
3. 増穂 IC 周辺整備や東部地域開発など、まちの中心となる市街地の活性化
4. 自然環境や歴史文化など、特色ある地域資源を活用した観光振興
5. 周辺市町村や地域間を結ぶ幹線道路網整備など、交通基盤の整備充実
6. 空き店舗の活用、買い物弱者への対応など、既存商店街への支援充実による活性化
7. スーパーや複合商業施設など、大規模店舗の誘致促進
8. 観光農業の充実や生産基盤の充実、後継者・担い手育成などによる農林業の活性化
9. 朝市などの地産地消の促進と、ゆず、ラ・フランスなど特産品による地域ブランドづくり
10. 既存の伝統産業や中小企業への支援充実による地域活性化の推進
11. 地域情報を内外へ発信する情報通信（光ケーブルなど）環境の整備
12. その他
13. 不明

◆具体的な施策の方向性

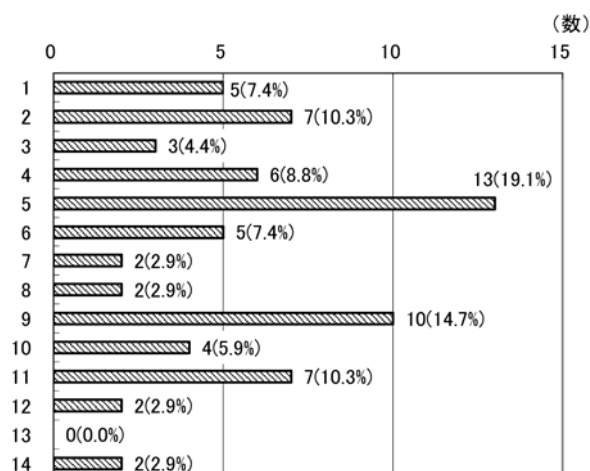
（①まちの発展・活性化）



② 調和のとれた土地の使い方

1. 東部地域開発の推進など、町の顔となる中心市街地の都市基盤整備の充実
2. 中部横断自動車道増穂 IC 周辺の計画的な土地利用の推進
3. 水辺プラザ、スポーツ施設整備など、水辺空間の有効活用
4. 工業地や商業地など、地域の実情に即した土地の有効利用の促進
5. 住宅地や集落地の住環境の向上、空き家・空き地対策などの住環境の改善
6. 水辺環境や森林などの豊かな自然環境の保全
7. 森林・農地などの無秩序な開発・宅地化の抑制
8. 優良農地の計画的な保全と農業生産基盤の整備促進
9. 遊休農地、耕作放棄地などの有効活用
10. 甲西道路や国道 52 号などの幹線道路沿道の良好なまちなみ誘導
11. 定住促進のための計画的な宅地開発の整備・誘導
12. 土地利用計画の策定、良好な土地の使い方のためのルールづくり（土地利用ガイドラインなど）
13. その他
14. 不明

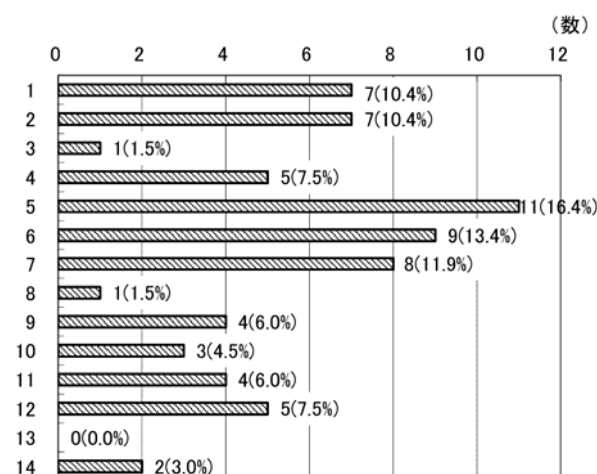
◆具体的な施策の方向性（②土地の使い方）



③ 道路・交通対策

1. 中部横断自動車道の整備促進と周辺アクセス道路整備の推進
2. 町の玄関口、窓口となる「道の駅」の整備促進
3. 甲西道路など甲府圏域や周辺都市を結ぶ広域幹線道路網の機能強化
4. 市街地の骨格となる都市計画道路の整備推進
5. 各集落や山間地域の生活道路の確保と地域間交通ネットワークの確立
6. 身近な生活道路の改善整備や狭い道路の拡幅整備
7. コミュニティバスやデマンド交通などの公共交通機関の充実と JR 身延線へのアクセス強化
8. 誰もが安心・快適に歩ける歩道の整備や歩行者優先道路の整備
9. 道路のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化など、人にやさしい道づくりの推進
10. 登山道・ハイキングルート等の充実やふるさとの散歩道づくりの推進
11. 通学路の交通安全対策の充実、信号機や横断歩道など交通安全施設の改善・整備
12. 街路灯・防犯灯の充実
13. その他
14. 不明

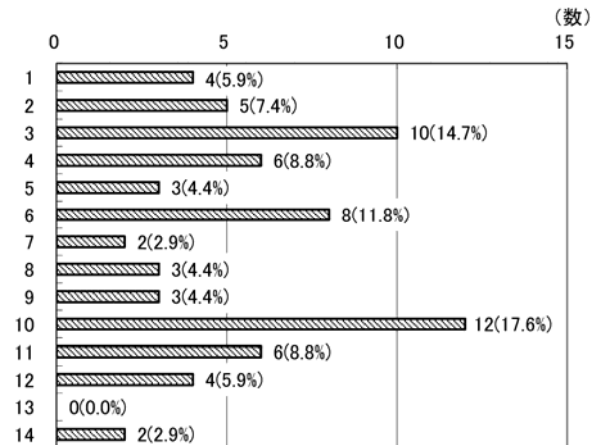
◆具体的な施策の方向性（③道路・交通対策）



④ 観光による振興

1. 山岳、渓谷などの自然環境や富士山の眺望など、景勝地周辺の保全と活用
2. あおやぎ宿活性館、観光遊船などの富士川舟運や旧街道の歴史文化を活用した町独自の観光振興
3. 道の駅・農産物直売所など、新たな観光集客施設の整備促進
4. 交流施設や体験施設、温泉などの既存の観光スポットの魅力の向上
5. 朝市の促進、郷土料理や特産品開発、硯製造などの伝統的地場産業やゆずなどの特色ある農産物を活用した産業観光の振興
6. 町内三筋（平林・穂積・五開）と観光拠点を結ぶ観光周遊ルートの整備充実
7. 資源を巡る散策路やフットパス、ハイキングコースなどの整備充実
8. 登山、釣り、キャンプなどスポーツ・レクリエーション施設の整備充実
9. グリーンツーリズム、自然・田舎体験など都市との交流機会の充実
10. 大法師さくら祭りやふじかわ夏まつりなど、郷土の祭り・イベントの充実とPRの推進
11. 案内標示の充実、来訪者を迎える体制づくり（観光マップ、ボランティアガイドの育成など）
12. インターネットやテレビ、雑誌、フィルムコミッション^{*2}などを活用した新たな宣伝活動の充実
13. その他
14. 不明

◆具体的な施策の方向性（④観光による振興）

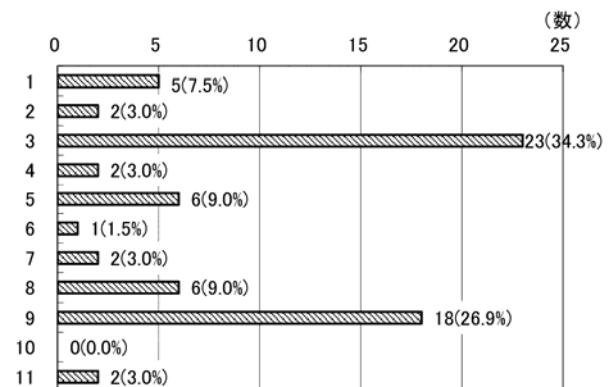


⑤ 豊かな自然や水と緑

1. 県立南アルプス巨摩自然公園などの広大な森林や渓谷など、優れた自然環境の保全
2. 水源涵養にも寄与する森林資源の保全と住民参加による森づくり活動の促進
3. 富士川や戸川、大柳川渓谷、妙連滝や不動滝などの美しい水辺環境の保全
4. 里山や雑木林、屋敷林、古木・大木など、身近なみどりの保全
5. ホタルや水辺の生態系など、貴重な動植物の生息環境の保全
6. 公共施設や民有地などの緑化の推進
7. 街路樹や植樹などによる道路や河川空間などの緑化の推進
8. 桜やあじさい、菜の花など、地域にふさわしい四季折々の花や樹林を増やす
9. サル、イノシシ、シカなどの鳥獣害対策の推進
10. その他
11. 不明

◆具体的な施策の方向性

（⑤豊かな自然や水と緑）

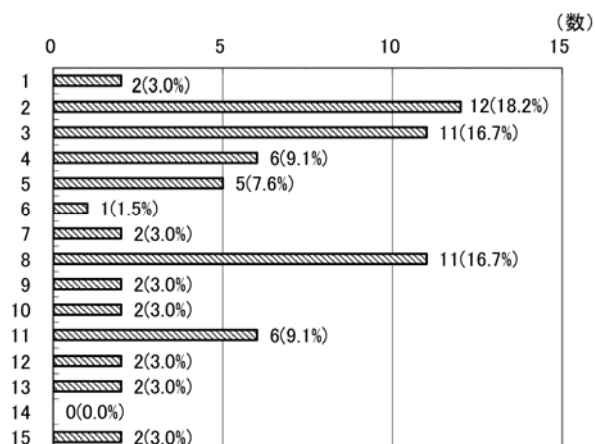


⑥ ふるさとの景観づくり

1. 楡形山や源氏山をいただく県立南アルプス巨摩自然公園の広大な森林景観の保全
2. 富士川などの河川、大柳川溪谷や妙連の滝、八雲池などの水辺景観の保全
3. ダイヤモンド富士や山々の眺望、山地や林道からの甲府盆地の眺望など、良好な眺望景観の保全と活用
4. 富士川舟運の河岸、駿信・駿州往還の要衝地などの往時を偲ばせるまちなみ景観づくり
5. 太鼓堂や鵜沢河岸跡・禹の瀬などの由緒ある史跡・文化財の保全と活用
6. 地域の社寺、大木・古木、祠、道祖神など、身近な景観資源の保全と活用
7. 平林の棚田などのふるさとの美しい農村風景や里山景観の保全と活用
8. 増穂 IC 周辺や既存の観光拠点周辺など、地域のシンボルとなる景観づくりの推進
9. 山間集落や市街地周辺などの各地域にふさわしい景観まちなみ誘導
10. 天神社祭典など地域景観を特徴づける祭り、行事・伝統文化の継承
11. 景勝地や「富士川町八景」の選定など、景観形成活動の推進とPRの充実
12. まちなみ景観に関する地域のルールづくりなど、住民参加による景観づくりの促進
13. 自然環境や歴史文化的な景観を守り、活かす「景観条例」や「景観計画」の策定
14. その他
15. 不明

◆具体的な施策の方向性

(⑥ふるさとの景観づくり)

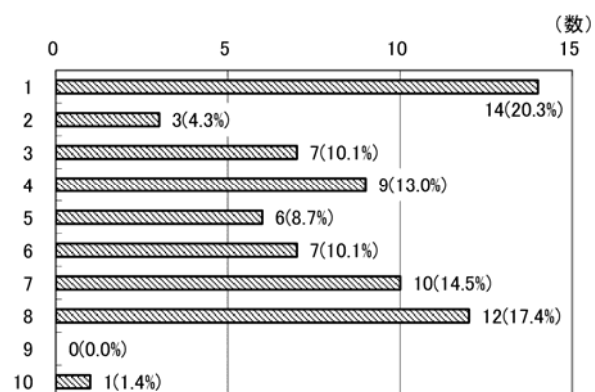


⑦ 公共施設や公園などの生活基盤

1. 大法師公園や殿原スポーツ公園など、多くの人々が利用する公園・緑地の整備充実
2. 町民や来訪者の新たな交流空間となる河岸跡公園の整備推進
3. 子どもの遊び場など、身近な親しみある公園やポケットパーク等の整備
4. 文化施設や図書館、スポーツ施設などの生涯学習や健康増進のための施設の整備充実
5. 公民館など地域コミュニティの核となる公共施設の整備充実
6. 上・下水道の整備、下水道処理区域外での合併処理浄化槽の設置促進
7. 町有地の有効活用など、定住促進のための質の高い宅地整備、住環境整備の推進
8. 老朽化した公営住宅の改善、若い世帯や高齢者等への計画的な公営住宅の整備推進
9. その他
10. 不明

◆具体的な施策の方向性

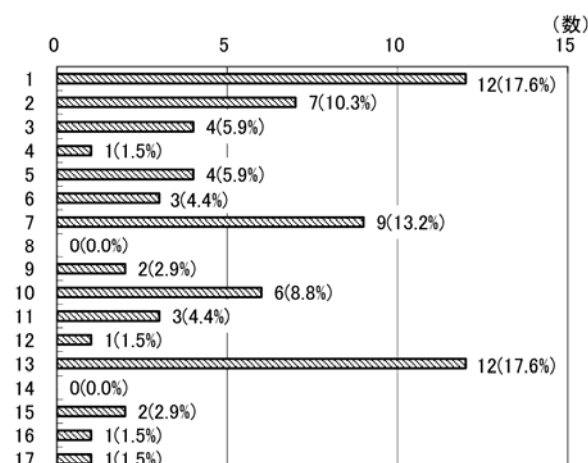
(⑦公共施設や公園などの生活基盤)



⑧ 防災・防犯

1. 地震や水害などの自然災害対策の強化
2. 急傾斜地の崩壊や地滑りなどに対する治山対策の強化
3. 豪雨時の内水氾濫対策や河川改修の整備促進など、治水機能の強化
4. 河川防災ステーション・水防センター整備による水防強化の推進
5. 避難路となる道路網整備、物資運搬や救援時の高速道路の活用、橋梁の点検・整備の充実
6. 老朽・密集した住宅地の環境改善（狭い道路、行き止まり道路の解消、建物の不燃化など）
7. 災害時の避難場所や備蓄倉庫の整備
8. 防火水槽、消火栓などの消防水利施設の充実
9. 家屋耐震化の普及と公共公益施設の耐震化の推進
10. 地域医療施設と連携した救急医療体制の整備
11. 緊急ヘリコプター発着所整備など、災害時孤立集落対策の推進
12. 防犯灯の設置やスクールガードなどの防犯パトロールの推進
13. 避難・救助・緊急通信などの正確で迅速な情報伝達システムの充実
14. 防災訓練の充実など、町民の防災・防犯意識の高揚と啓発
15. 消防団など自主防災組織・防犯組織やボランティアの育成と支援
16. その他
17. 不明

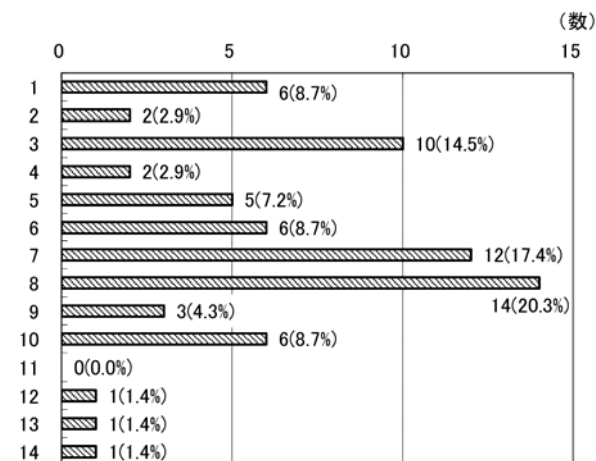
◆具体的な施策の方向性（⑧防災・防犯）



⑨ 福祉のまちづくり

1. 老人ホームや介護支援センターなどの福祉施設の充実
2. バス停や町民利用施設など、施設のバリアフリー整備、ユニバーサルデザインの導入促進
3. 訪問看護など、介護医療サービスの充実
4. 高齢者に対応した公営住宅の整備や住宅の新築・リフォームへの支援充実
5. 福祉バス・福祉タクシーなど、交通手段の充実
6. 高齢者や障害者の生きがいづくり、働く場の確保などの支援体制づくり
7. 近隣の医療機関との連携による救急医療や地域が連携した地域医療体制の充実
8. 子どもを産み、育てやすい環境づくりなど、少子化対策の充実
9. 保育所や地域子育て支援センターの設置など、子育て支援施設の整備・充実
10. 廃校の活用、余裕教室や空き施設を活用した福祉・交流施設の充実
11. 青少年の健全育成に対する相談窓口や体制づくり
12. 福祉ボランティアの育成と活動への支援充実
13. その他
14. 不明

◆具体的な施策の方向性（⑨福祉）



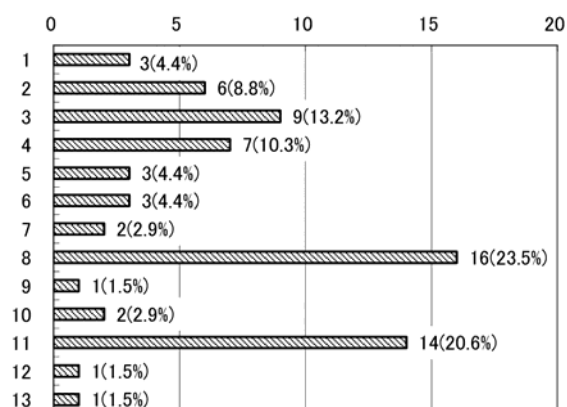
⑩ 環境に配慮したまちづくり

1. リサイクル促進や二酸化炭素の排出抑制など、地域からの地球環境対策の推進
2. ごみの減量や資源ごみの分別回収など、ごみの再資源化の推進
3. リサイクルステーションの設置充実による効率的なごみ処理体制の推進
4. ごみの不法投棄の未然防止、監視活動の強化
5. 悪臭、騒音、振動、水質汚濁など、公害防止対策の推進
6. 自家用車利用の抑制など、環境に配慮した交通環境対策の促進
7. 自然型工法^{*3}の導入など、環境に配慮した施設整備の促進
8. 風力・太陽光発電などの省エネルギー対策、バイオマス^{*4}などの自然エネルギーの導入
9. 有機農業や減農薬農業など環境保全型農業の推進
10. NPOやボランティアによる環境保全活動、まちの美化・清掃活動への支援充実
11. 住民一人一人の地域環境に対する意識の向上、マナーやルールへの遵守
12. その他
13. 不明

◆具体的な施策の方向性

(⑩環境に配慮したまちづくり)

(数)

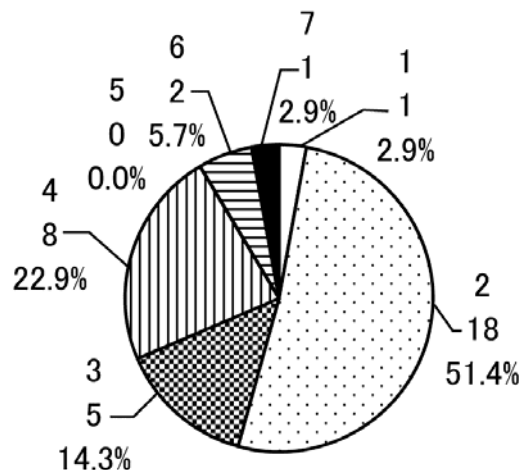


◆参加のまちづくりについて

設問4：まちづくりへの参加

1. 積極的に参加したい
2. 内容によっては参加する
3. 地域の集まりやまちなどで求められれば参加する
4. 参加はできないが何らかの協力はしたい
5. 参加も協力もしたいと思わない
6. その他
7. 不明

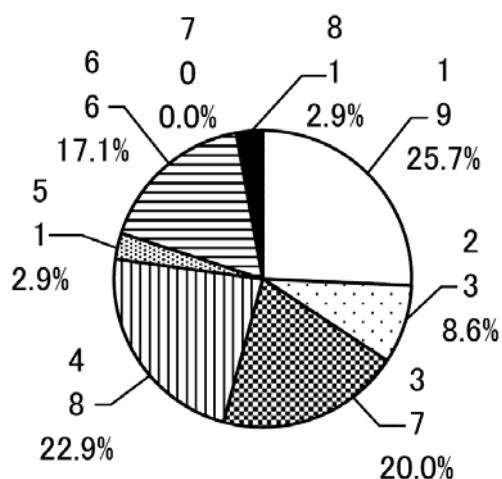
◆まちづくりへの参加



設問５：まちづくりの体制づくり

1. まちの広報やお知らせなどで、まちづくりに関する情報公開やPRを充実する
2. まちづくりに関する意見や相談を聞く窓口を充実する
3. まちづくりの説明会や勉強会を開くなどの機会を充実する
4. アンケート結果などの住民意向を公開し、充分反映する
5. 町民参加によるまちづくりを支える条例や制度などの仕組みを整える
6. 地域の自主的なまちづくり活動に対する助成や専門家派遣などの積極的な支援を行う
7. その他
8. 不明

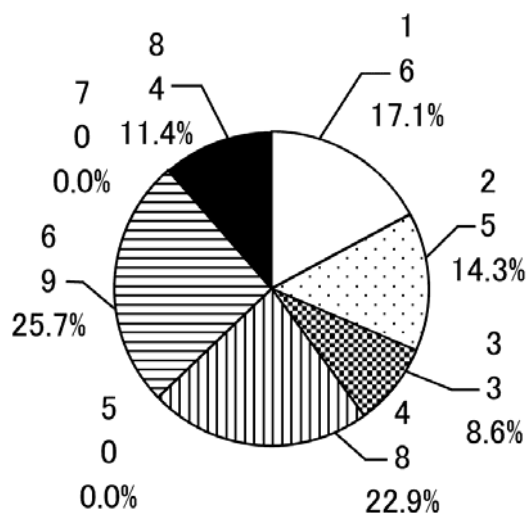
◆まちづくりの体制づくり



設問６：協働のまちづくり

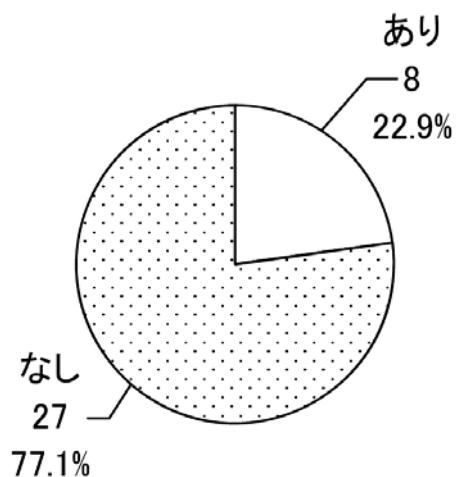
1. 「まちづくり会議」など行政や住民等が意見を交換する場をつくる
2. 協議会など地域・地区単位のまちづくり組織を充実する
3. 多様なまちづくり活動を助言・支援する「まちづくりセンター」的な組織をつくる
4. 地域の自発的なまちづくり活動を支援・助成する体制をつくる
5. 町民と行政等が協力して町独自の条例や要綱などのルールや制度をつくる
6. まちづくりのリーダーとなる人材を育てる仕組みをつくる
7. その他

◆協働のまちづくり



◆自由記入

◆自由記入



■ 参考資料

○ アンケート調査票



富士川町都市計画マスタープラン策定に伴うアンケート調査

まちづくりにあなたの声をお聞かせ下さい!!

住民アンケート調査ご協力のお願い

日頃から、町政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成 22 年 3 月 8 日、増穂町と鯉沢町の合併により富士川町が誕生しました。新町発足に伴い、誰もが快適にこの町に住み続けることのできるまちづくりを目指し、町では現在、都市計画に関する基本的な方針となる「富士川町都市計画マスタープラン」の策定に向けた準備を進めているところです。

都市計画マスタープランは、おおむね 20 年後の富士川町のあるべき姿や将来像を示すとともに、土地の利用や道路、公園、その他公共施設の整備や町の発展の方向性など、今後のまちづくりを進める上での基本的な方針を定めるものです。

策定にあたっては、住民の皆さんの考えが重要なものとなります。そこで、計画の検討に先立ち、住民の皆様のまちづくりに関するご意見を広くお聞きし、より良い計画づくりの大切な資料とすることを目的に、このアンケート調査を実施いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、アンケートの結果は、集計・分析後に町のホームページ等で公表いたします。

平成 24 年 3 月 14 日

富 士 川 町

アンケートの記入方法と回収について



○設問番号にそって、全部の設問にお答え下さい。ご回答は、あてはまる番号に○印をつけ、その他のお考えは、その他の欄に具体的にご記入下さい。また、回答は、直接この用紙にご記入下さい。

○調査票は、ご本人によるご記入が難しい場合をのぞき、必ず宛名のご本人がご記入下さい。

○ご回答は、すべて匿名のデータとして統計処理をいたしますので、プライバシーの保護はもとより、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。

○ご記入いただきました調査票は、勝手ながら、**同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**

3月28日（水） までにポストにご投函下さいますようお願いいたします。

ご質問・ご不明な点
などがございましたら、
ご連絡ください。

【問い合わせ先】

富士川町 建設課 都市計画担当

電話: 0556-22-7203 FAX: 0556-22-5290





ここからご記入ください

◆はじめに・・・あなたご自身についてお聞きします。

◆問1から問4について、該当するものを1つ選択し、○をつけて下さい。

問1 性別	1. 男性	2. 女性	
問2 年齢	1. 20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代	5. 60 歳代 6. 70 歳代 7. 80 歳以上	
問3 お住まいの地区	1. 最勝寺 5. 小林 9. 平林 13. 中部	2. 天神中条 6. 長沢 10. 小室 14. 五開	3. 大久保 7. 大櫛 11. 高下 12. 本町（1～6）
問4 富士川町での居住年数	1. 2年未満 3. 5年以上 10 年未満 5. 20 年以上 30 年未満	2. 2年以上 5 年未満 4. 10 年以上 20 年未満 6. 30 年以上	



・春米の棚田



・太鼓堂



・高下からのダイヤモンド富士

1 富士川町らしさ・まちのイメージについて

問5 ◆まちの現在のイメージについて

あなたが日頃思う富士川町らしさ、町のイメージをあらわしているものを次よりお選び下さい。

【2つ選択】

1. 櫛形山や源氏山などの山岳や森林、美しい渓谷や滝、富士川の清流など、豊かな自然環境があるまち
2. ダイヤモンド富士などの眺望や市街地から望む山々の風景など、美しい風景に恵まれたまち
3. 富士川舟運の拠点として繁栄した歴史文化を継承するまち
4. 太鼓堂、蓮華寺、明王寺等の史跡・文化財など、由緒ある歴史資源を守るまち
5. 平林の棚田、落ち着いた趣のある集落や里山など、故郷のなつかしい風景
6. 交流センター塩の華、あおやぎ宿活性館・追分館など、観光や交流が盛んなまち
7. 天神社祭典やふじかわ夏まつりなど、祭事・行事・イベントが盛んなまち
8. まほろの湯やかじかの湯などの名湯の憩いと安らぎがあるまち
9. 大法師公園のさくら、妙法寺のあじさい、林道沿いの紅葉など、四季折々の彩りがあるまち
10. 登山やハイキング、キャンプ場など身近なレクリエーションや自然体験の盛んなまち
11. 中部横断自動車道の整備など甲府盆地南西部の交通の要衝地として発展していくまち
12. 交通や日常の買い物などの利便性が整った暮らしやすいまち
13. 昔ながらの風習や地域の人々のふれあいが深いまち
14. その他 ()



・大柳川渓谷

2 富士川町の今後のまちづくりについて

問6 ◆まちづくりで重視する視点（施策）

今後、富士川町のまちづくりを進めて行くにあたって、あなたはどのような視点（施策）を重視していくべきとお考えになりますか。

【2つ選択】

1. 高速交通網整備やインターチェンジ周辺開発など、まちの発展に力を注ぎ活力を高める
2. 農林業、商工業、観光振興など産業振興により定住化を促進し、まちの活力を高める
3. 森林や農地などの無秩序な開発を抑制し、計画的な調和のとれた土地の使い方を進めていく
4. 幹線道路の整備や身近な生活道路の改善・整備、公共交通の充実など、交通環境の利便性を高める
5. 豊かな森林や河川・渓谷などの水辺、恵まれた自然環境を守り、活用する
6. 舟運などの歴史文化的景観、自然・里山景観、雄大な眺望など、ふるさとの美しい風景を守り、育てる
7. 公園や上・下水道、公共施設整備など、身近な生活基盤を充実する
8. 水害や地滑りなど、災害に強い安全なまちづくりを推進する
9. 子ども達や高齢者など、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する
10. 循環型社会^{*1}の形成に向けた取り組みなど、環境に配慮したまちづくりを推進する
11. 中山間地域など各地域の特性を踏まえ、バランスのとれた地域格差のないまちづくりを推進する
12. その他 ()

^{*1} 循環型社会：大量生産・消費・廃棄の社会に代わり、製品の再生利用や再資源化を進めて資源の消費を抑え、環境への負荷ができるかぎり低減される社会

問7 ◆具体的な施策の方向性

では、具体的にはどのような点を優先してまちづくりを進めるべきとお考えになりますか。

【各質問2つ選択】

① まちの発展・活性化について

【2つ選択】

1. 定住促進や雇用機会確保のための工業用地整備、優良企業の誘致促進
2. 中部横断自動車道やリニア中央新幹線中間駅への広域アクセス道路の強化
3. 増穂 IC 周辺整備や東部地域開発など、まちの中心となる市街地の活性化
4. 自然環境や歴史文化など、特色ある地域資源を活用した観光振興
5. 周辺市町村や地域間を結ぶ幹線道路網整備など、交通基盤の整備充実
6. 空き店舗の活用、買い物弱者への対応など、既存商店街への支援充実による活性化
7. スーパーや複合商業施設など、大規模店舗の誘致促進
8. 観光農業の充実や生産基盤の充実、後継者・担い手育成などによる農林業の活性化
9. 朝市などの地産地消の促進と、ゆず、ラ・フランスなど特産品による地域ブランドづくり
10. 既存の伝統産業や中小企業への支援充実による地域活性化の推進
11. 地域情報を内外へ発信する情報通信（光ケーブルなど）環境の整備
12. その他 （



・東部地域開発構想

② 調和のとれた土地の使い方について

【2つ選択】

1. 東部地域開発の推進など、町の顔となる中心市街地の都市基盤整備の充実
2. 中部横断自動車道増穂 IC 周辺の計画的な土地利用の推進
3. 水辺プラザ、スポーツ施設整備など、水辺空間の有効活用
4. 工業地や商業地など、地域の実情に即した土地の有効利用の促進
5. 住宅地や集落地の住環境の向上、空き家・空き地対策などの住環境の改善
6. 水辺環境や森林などの豊かな自然環境の保全
7. 森林・農地などの無秩序な開発・宅地化の抑制
8. 優良農地の計画的な保全と農業生産基盤の整備促進
9. 遊休農地、耕作放棄地などの有効活用
10. 甲西道路や国道 52 号などの幹線道路沿道の良好なまちなみ誘導
11. 定住促進のための計画的な宅地開発の整備・誘導
12. 土地利用計画の策定、良好な土地の使い方のためのルールづくり（土地利用ガイドラインなど）
13. その他 （



③ 道路・交通対策について

【2つ選択】

1. 中部横断自動車道の整備促進と周辺アクセス道路整備の推進
2. 町の玄関口、窓口となる「道の駅」の整備促進
3. 甲西道路など甲府圏域や周辺都市を結ぶ広域幹線道路網の機能強化
4. 市街地の骨格となる都市計画道路の整備推進
5. 各集落や山間地域の生活道路の確保と地域間交通ネットワークの確立
6. 身近な生活道路の改善整備や狭い道路の拡幅整備
7. コミュニティバスやデマンド交通などの公共交通機関の充実と JR 身延線へのアクセス強化
8. 誰もが安心・快適に歩ける歩道の整備や歩行者優先道路の整備
9. 道路のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化など、人にやさしい道づくりの推進
10. 登山道・ハイキングルートの充実やふるさとの散歩道づくりの推進
11. 通学路の交通安全対策の充実、信号機や横断歩道など交通安全施設の改善・整備
12. 街路灯・防犯灯の充実
13. その他 （



④ 観光による振興について

【2つ選択】

1. 山岳、溪谷などの自然環境や富士山の眺望など、景勝地周辺の保全と活用
2. あおやぎ宿活性館、観光遊船などの富士川舟運や旧街道の歴史文化を活用した町独自の観光振興
3. 道の駅・農産物直売所など、新たな観光集客施設の整備促進
4. 交流施設や体験施設、温泉などの既存の観光スポットの魅力の向上
5. 朝市の促進、郷土料理や特産品開発、硯製造などの伝統的地場産業やゆずなどの特色ある農産物を活用した産業観光の振興
6. 町内三筋（平林・穂積・五関）と観光拠点を結ぶ観光周遊ルートの整備充実
7. 資源を巡る散策路やフットパス、ハイキングコースなどの整備充実
8. 登山、釣り、キャンプなどスポーツ・レクリエーション施設の整備充実
9. グリーンツーリズム、自然・田舎体験など都市との交流機会の充実
10. 大法師さくら祭りやふじかわ夏まつりなど、郷土の祭り・イベントの充実とPRの推進
11. 案内標示の充実、来訪者を迎える体制づくり（観光マップ、ボランティアガイドの育成など）
12. インターネットやテレビ、雑誌、フィルムコミッション^{＊2}などを活用した新たな宣伝活動の充実
13. その他（ ）

＊2 フィルムコミッション：映画、テレビドラマ、CMなどのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための支援をする活動



・朝市

⑤ 豊かな自然や水と緑について

【2つ選択】

1. 県立南アルプス巨摩自然公園などの広大な森林や溪谷など、優れた自然環境の保全
2. 水源涵養にも寄与する森林資源の保全と住民参加による森づくり活動の促進
3. 富士川や戸川、大柳川溪谷、妙連滝や不動滝などの美しい水辺環境の保全
4. 里山や雑木林、屋敷林、古木・大木など、身近なみどりの保全
5. ホタルや水辺の生態系など、貴重な動植物の生息環境の保全
6. 公共施設や民有地などの緑化の推進
7. 街路樹や植樹などによる道路や河川空間などの緑化の推進
8. 桜やあじさい、菜の花など、地域にふさわしい四季折々の花や樹林を増やす
9. サル、イノシシ、シカなどの鳥獣害対策の推進
10. その他（ ）



・妙連の滝

⑥ ふるさとの景観づくりについて

【2つ選択】

1. 櫛形山や源氏山をいただく県立南アルプス巨摩自然公園の広大な森林景観の保全
2. 富士川などの河川、大柳川溪谷や妙連の滝、八雲池などの水辺景観の保全
3. ダイヤモンド富士や山々の眺望、山地や林道からの甲府盆地の眺望など、良好な眺望景観の保全と活用
4. 富士川舟運の河岸、駿信・駿州往還の要衝地などの往時を偲ばせるまちなみ景観づくり
5. 太鼓堂や鰍沢河岸跡・禹の瀬などの由緒ある史跡・文化財の保全と活用
6. 地域の社寺、大木・古木、祠、道祖神など、身近な景観資源の保全と活用
7. 平林の棚田などのふるさとの美しい農村風景や里山景観の保全と活用
8. 増穂IC周辺や既存の観光拠点周辺など、地域のシンボルとなる景観づくりの推進
9. 山間集落や市街地周辺などの各地域にふさわしい景観まちなみ誘導
10. 天神社祭典など地域景観を特徴づける祭り、行事・伝統文化の継承
11. 景勝地や「富士川町八景」の選定など、景観形成活動の推進とPRの充実
12. まちなみ景観に関する地域のルールづくりなど、住民参加による景観づくりの促進
13. 自然環境や歴史文化的な景観を守り、活かす「景観条例」や「景観計画」の策定
14. その他（ ）



・天満宮社祭

⑦ 公共施設や公園などの生活基盤について

【2つ選択】

1. 大法師公園や殿原スポーツ公園など、多くの人々が利用する公園・緑地の整備充実
2. 町民や来訪者の新たな交流空間となる河岸跡公園の整備推進
3. 子どもの遊び場など、身近な親しみある公園やポケットパーク等の整備
4. 文化施設や図書館、スポーツ施設などの生涯学習や健康増進のための施設の整備充実
5. 公民館など地域コミュニティの核となる公共施設の整備充実
6. 上・下水道の整備、下水道処理区域外での合併処理浄化槽の設置促進
7. 町有地の有効活用など、定住促進のための質の高い宅地整備、住環境整備の推進
8. 老朽化した公営住宅の改善、若い世帯や高齢者等への計画的な公営住宅の整備推進
9. その他 ()



・ますほ文化ホール

⑧ 防災・防犯について

【2つ選択】

1. 地震や水害などの自然災害対策の強化
2. 急傾斜地の崩壊や地滑りなどに対する治山対策の強化
3. 豪雨時の内水氾濫対策や河川改修の整備促進など、治水機能の強化
4. 河川防災ステーション・水防センター整備による水防強化の推進
5. 避難路となる道路網整備、物資運搬や救援時の高速道路の活用、橋梁の点検・整備の充実
6. 老朽・密集した住宅地の環境改善（狭い道路、行き止まり道路の解消、建物の不燃化など）
7. 災害時の避難場所や備蓄倉庫の整備
8. 防火水槽、消火栓などの消防水利施設の充実
9. 家屋耐震化の普及と公共公益施設の耐震化の推進
10. 地域医療施設と連携した救急医療体制の整備
11. 緊急ヘリコプター着着所整備など、災害時孤立集落対策の推進
12. 防犯灯の設置やスクールガードなどの防犯パトロールの推進
13. 避難・救助・緊急通信などの正確で迅速な情報伝達システムの充実
14. 防災訓練の充実など、町民の防災・防犯意識の高揚と啓発
15. 消防団など自主防災組織・防犯組織やボランティアの育成と支援
16. その他 ()



⑨ 福祉について

【2つ選択】

1. 老人ホームや介護支援センターなどの福祉施設の充実
2. バス停や町民利用施設など、施設のバリアフリー整備、ユニバーサルデザインの導入促進
3. 訪問看護など、介護医療サービスの充実
4. 高齢者に対応した公営住宅の整備や住宅の新築・リフォームへの支援充実
5. 福祉バス・福祉タクシーなど、交通手段の充実
6. 高齢者や障害者の生きがいづくり、働く場の確保などの支援体制づくり
7. 近隣の医療機関との連携による救急医療や地域が連携した地域医療体制の充実
8. 子どもを産み、育てやすい環境づくりなど、少子化対策の充実
9. 保育所や地域子育て支援センターの設置など、子育て支援施設の整備・充実
10. 廃校の活用、余裕教室や空き施設を活用した福祉・交流施設の充実
11. 青少年の健全育成に対する相談窓口や体制づくり
12. 福祉ボランティアの育成と活動への支援充実
13. その他 ()



10 環境に配慮したまちづくりについて

【2つ選択】

1. リサイクル促進や二酸化炭素の排出抑制など、地域からの地球環境対策の推進
2. ごみの減量や資源ごみの分別回収など、ごみの再資源化の推進
3. リサイクルステーションの設置充実による効率的なごみ処理体制の推進
4. ごみの不法投棄の未然防止、監視活動の強化
5. 悪臭、騒音、振動、水質汚濁など、公害防止対策の推進
6. 自家用車利用の抑制など、環境に配慮した交通環境対策の促進
7. 自然型工法*³の導入など、環境に配慮した施設整備の促進
8. 風力・太陽光発電などの省エネルギー対策、バイオマス*⁴などの自然エネルギーの導入
9. 有機農業や減農薬農業など環境保全型農業の推進
10. NPOやボランティアによる環境保全活動、まちの美化・清掃活動への支援充実
11. 住民一人一人の地域環境に対する意識の向上、マナーやルールの遵守
12. その他 ()



*3 多自然型工法：本来その場所がもっている生物環境に配慮し、生物生息環境や自然景観の保全・創出を目指した工法

*4 バイオマス：再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源（石油など）を除いたもの。バイオマスから得られるエネルギーはバイオマスエネルギーと呼ばれる。バイオマスの例としては、廃棄される紙、家畜排泄物、食品廃棄物、稲わら、もみ殻、間伐材等さまざまなものがあげられる

3 参加のまちづくりについて

問8 ◆まちづくりへの参加について

まちづくりには住民の皆さんの協力が必要です。あなたはどのようなかたちで参加したいと思いますか。

【1つ選択】

1. 積極的に参加したい
2. 内容によっては参加する
3. 地域の集まりやまちなどで求められれば参加する
4. 参加はできないが何らかの協力はしたい
5. 参加も協力もしたいと思わない
6. その他 ()



問9 ◆まちづくりの体制づくりについて

まちづくりを進めていくにあたって、あなたが行政に望む取り組み体制を次からお選び下さい。

【1つ選択】

1. まちの広報やお知らせなどで、まちづくりに関する情報公開やPRを充実する
2. まちづくりに関する意見や相談を聞く窓口を充実する
3. まちづくりの説明会や勉強会を開くなどの機会を充実する
4. アンケート結果などの住民意向を公開し、充分反映する
5. 町民参加によるまちづくりを支える条例や制度などの仕組みを整える
6. 地域の自主的なまちづくり活動に対する助成や専門家派遣などの積極的な支援を行う
7. その他 ()

問 10 ◆協働のまちづくりについて

まちづくりを進めていくには、住民や行政、事業者等が協力し合う協働体制が重要です。あなたが重要と思われるものを次よりお選び下さい。 **【1つ選択】**

1. 「まちづくり会議」など行政や住民等が意見を交換する場をつくる
2. 協議会など地域・地区単位のまちづくり組織を充実する
3. 多様なまちづくり活動を助言・支援する「まちづくりセンター」的な組織をつくる
4. 地域の自発的なまちづくり活動を支援・助成する体制をつくる
5. 町民と行政等が協力して町独自の条例や要綱などのルールや制度をつくる
6. まちづくりのリーダーとなる人材を育てる仕組みをつくる
7. その他 ()

◆自由記入 ・ ・ まちづくりに関するご意見・ご提案があれば自由にお書き下さい。



・ 大法師公園の桜



・ 楡形山からの富士山の眺望

ご協力ありがとうございました!!

